

令和7年度施策及び事業案の概要

| | ページ |
|--|--------------|
| ①主要事業等一覧 | 1 |
| ②令和7年度当初予算（案）の概要 | 6 |
| ③事業ごとの説明資料 | （ページ番号は①に記載） |
| ④「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」関連事業 令和7年度当初予算要求主要項目 | 別冊 |

地 域 政 策 局

主要事業一覧

○ 特に重点的に取り組む施策

人口減少対策

ひろしまスタイル定住促進事業 142,507千円 . . . 7

ウェブやチャットボット等のデジタル技術を最大限活用し、情報提供及び相談対応の強化を図ることで、移住を検討している層又は移住に関心がある層に対して「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルを提案し、その実現を後押しすることにより、東京圏等から本県への移住・定住を促進

都市圏魅力創造事業 14,848千円 . . . 8

広島都市圏及び備後圏域において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、各圏域の中心である広島市及び福山市と連携した取組を推進

人手不足対策

地域公共交通維持確保事業 80,200千円※ . . . 24

地域の幹線的・広域的なバス路線、日常生活を支える市町等運行路線、県として維持すべき航路等の運行経費等に対する補助を実施するとともに、喫緊の課題となっている運転士不足対策などに取り組むことを通じて、地域の暮らしや経済活動を支える地域公共交通を将来にわたって安定的に維持・確保
※地域公共交通維持確保事業の内数（交通事業者の経営力強化事業の内数）

外国人材の受入・共生対策事業 60,585千円 . . . 9

県内企業等において、特定技能等の外国人材の受入れが適正かつ円滑に行われ、外国人が、県内企業で活躍し、孤立することなく県民の一員として地域に受け込み、安心して生活できる環境を整備

被爆・終戦80年における平和の取組

国際平和拠点ひろしま構想推進事業 422,843千円 . . . 10

核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献

アーバンスポーツ大会開催支援事業 30,000千円 . . . 14

アーバンスポーツは、若者を中心に高い集客力があり、スポーツの枠を超え、観光、地域経済の活性化にもつながるなど成長が期待できることから、広島の新しいブランド価値を生み出す重要な取組として、アーバンスポーツ大会の開催を支援

○ それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

県民の挑戦を後押し

■ 県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる

ひろしまスタイル定住促進事業（再掲） 142,507 千円 . . . 7

ウェブやチャットボット等のデジタル技術を最大限活用し、情報提供及び相談対応の強化を図ることで、移住を検討している層又は移住に関心がある層に対して「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルを提案し、その実現を後押しすることにより、東京圏等から本県への移住・定住を促進

外国人材の受入・共生対策事業（再掲） 60,585 千円 . . . 9

県内企業等において、特定技能等の外国人材の受入れが適正かつ円滑に行われ、外国人が、県内企業で活躍し、孤立することなく県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整備

スポーツに親しむ環境創出事業 20,900 千円 . . . 15

県民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、誰もが日常的にスポーツに親しむ機会を創出

アーバンスポーツ大会開催支援事業（再掲） 30,000 千円 . . . 14

アーバンスポーツは、若者を中心に高い集客力があり、スポーツの枠を超え、観光、地域経済の活性化にもつながるなど成長が期待できることから、広島の新しいブランド価値を生み出す重要な取組として、アーバンスポーツ大会の開催を支援

■ 県民の『誇り』につながる強みを伸ばす

スポーツを活用した地域活性化推進事業 72,162 千円 . . . 16

スポーツを核とした豊かな地域づくりに向け、スポーツを活用した地域活性化を推進

国際平和拠点ひろしま構想推進事業（再掲） 422,843 千円 . . . 10

核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献

県民の挑戦を後押し（続き）

■ 県民一人一人の夢や希望の実現に向けた『挑戦』を後押し

みらいアスリートチャレンジ応援事業 56,858千円 . . . 17

スポーツを通じて子供たちが夢や希望に挑戦でき、自身の適性や志向にあったスポーツの楽しみ方を発見、選択し、自身の目標に挑戦できている状態を目指すため、小中高の各段階での取組をつなぎ、子供たち一人一人の資質や志向に応じた挑戦を支援

特性を生かした適散・適集な地域づくり

都市圏魅力創造事業（再掲） 14,848千円 . . . 8

広島都市圏及び備後圏域において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、各圏域の中心である広島市及び福山市と連携した取組を推進

広島西飛行場跡地活用推進事業 90,450千円 . . . 18

広島都市圏における高次都市機能集積強化により中枢拠点性の向上を図るため、広島西飛行場跡地利用計画に基づき、広島市と共同で取組を推進

ひろしま里山・人材力加速事業 80,633千円 . . . 19

中山間地域の将来を担うリーダーを発掘、育成するとともに、その活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に展開されるよう、活動の支援やつながりづくりの後押しを通じて、多様な主体が連携、協働して支え合える地域づくりを推進

集落対策推進事業 35,000千円 . . . 20

急速な人口減少と高齢化が進む中山間地域において、住民が安心して暮らし続けていくための集落対策を、住民、住民自治組織、行政等の関係者が一体となって推進

デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業 60,000千円 . . . 21

中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、中山間地域に住む県民が安心して暮らすことができる生活環境づくりを推進

中山間地域活性化推進費 5,042千円 . . . 22

令和2年度に策定した「第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画」が令和7年度末に終期を迎えることから、県民、市町、県が密接に連携しながら、総力を結集して総合的な取組を進めていくため、次期中山間地域振興計画を策定

特性を生かした適散・適集な地域づくり（続き）

広島県地域公共交通ビジョン推進事業

118,245 千円 . . . 23

県全域を対象とした地域公共交通政策のマスタープランである「広島県地域公共交通ビジョン」の目指す姿の実現に向けて、ビジョン施策の基盤となるデータ整備や人材育成を進めるとともに、市町や事業者と一体となった利用促進策を実施

地域公共交通維持確保事業（一部再掲）

1,429,652 千円 . . . 24

地域の幹線的・広域的なバス路線、日常生活を支える市町等運行路線、県として維持すべき航路等の運行経費等に対する補助を実施するとともに、喫緊の課題となっている運転士不足対策などに取り組むことを通じて、地域の暮らしや経済活動を支える地域公共交通を将来にわたって安定的に維持・確保

広島型 MasS 推進事業

46,200 千円 . . . 25

交通事業者・利用者・受益者（商業施設等）が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す「広島型 MaaS」を県内全域に展開するとともに、新たな移動サービスの調査を実施

ローカル鉄道維持・確保事業

20,157 千円 . . . 26

「芸備線再構築協議会」において、沿線地域のまちづくり、観光振興の観点も含めた調査や議論を行い、持続可能で利便性の高い最適な地域公共交通を実現
また、中山間地域の魅力向上を図るため、鉄道網を地域資源として活用し、中山間地域ならではの地域交流の拡大や地域の利便性向上に取り組む市町・沿線協議会等を支援

○ 物価高への対応

物価高による影響の緩和

地域公共交通燃油費高騰緊急支援等事業【2月補正】

66,969 千円 . . . 27

強靱で持続可能な公共交通の実現に向けて、国による燃油費補助の縮小に伴う燃油費のさらなる上昇により、厳しい経営状況となることが見込まれる交通事業者に対し、令和7年3月までの燃油費上昇分に係る影響額の一部を支援

将来を見据えた構造的な課題に取り組む事業者等への支援

地域公共交通維持確保事業（一部再掲）

449,042 千円※ . . . 24

地域の幹線的・広域的なバス路線、日常生活を支える市町等運行路線、県として維持すべき航路等の運行経費等に対する補助を実施するとともに、喫緊の課題となっている運転士不足対策などに取り組むことを通じて、地域の暮らしや経済活動を支える地域公共交通を将来にわたって安定的に維持・確保

※地域公共交通維持確保事業の内数（交通事業者の経営力強化事業の内数）

○ その他

旧広島陸軍被服支廠安全対策等事業

1,094,451 千円

・ ・ ・ 28

旧広島陸軍被服支廠の建物の安全対策を進めるとともに、建物の活用等の検討を実施

南米県人会創立周年等記念事業

27,202 千円

・ ・ ・ 29

南米の広島県人会の創立周年等記念行事が開催されるため、訪問団を派遣し、在外ネットワークの維持・強化を図る

令和7年度当初予算（案）の概要

（令和6年度2月補正含む）

【款項別予算】

（単位：千円、％）

| 区 分 | 令和6年度 2月補正予算額 | 令和7年度当初予算額 | | | 合計 | 令和6年度 当初予算額 | 対前年度比 | | | |
|--------|------------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------------|------------|-----------|-----------|---------|
| | (A) | (B) | 国支出金 | その他 | 一般財源 | (C) = (A) + (B) | (D) | (B) - (D) | (B) / (D) | |
| 歳 出 | 総務費 | 66,969 | 12,807,722 | 3,099,759 | 3,766,342 | 5,941,621 | 12,874,691 | 8,859,098 | 3,948,624 | 144.6% |
| | 総務管理費 | 0 | 2,372,340 | 591,873 | 1,251,965 | 528,502 | 2,372,340 | 1,658,116 | 714,224 | 143.1% |
| | 企画費 | 0 | 358,835 | 0 | 0 | 358,835 | 358,835 | 356,450 | 2,385 | 100.7% |
| | 地域振興費 | 66,969 | 7,222,413 | 1,081,319 | 2,513,749 | 3,627,345 | 7,289,382 | 6,796,625 | 425,788 | 106.3% |
| | 選挙費 | 0 | 2,854,134 | 1,426,567 | 628 | 1,426,939 | 2,854,134 | 47,907 | 2,806,227 | 5957.7% |
| | 合計 | 66,969 | 12,807,722 | 3,099,759 | 3,766,342 | 5,941,621 | 12,874,691 | 8,859,098 | 3,948,624 | 144.6% |

※増減の主なもの

（単位：千円）

| 事業名 | 令和7年度 当初予算額 | 令和6年度 当初予算額 | 差引増減 | 増減の理由 |
|------------------|----------------|----------------|-----------|------------------------|
| 《増加の主なもの》 | | | | |
| 参議院議員通常選挙費 | 1,425,737 | 0 | 1,425,737 | 新規事業 |
| 知事選挙費 | 1,345,242 | 0 | 1,345,242 | 新規事業 |
| 国際平和拠点ひろしま構想推進事業 | 422,843 | 263,664 | 159,179 | 被爆・終戦80年に係る事業拡大に伴う経費の増 |
| 《減少の主なもの》 | | | | |
| サッカースタジアム等整備事業 | 0 | 176,557 | ▲ 176,557 | 事業終了 |
| 広島西飛行場跡地活用推進事業 | 450 | 92,450 | ▲ 92,000 | 多目的スポーツ広場整備の終了に伴う経費の減 |

| | |
|------|--------------|
| 課名 | 地域力創造課 |
| 担当者 | 兼田 |
| 電話番号 | 082-513-2581 |

ひろしまスタイル定住促進事業【一部新規】

1 ねらい

ウェブやチャットボット等のデジタル技術を最大限活用し、情報提供及び相談対応の強化を図ることで、移住を検討している層又は移住に関心がある層に対して「都市と自然の近接性」という地域特性を生かした広島らしいライフスタイルを提案し、その実現を後押しすることにより、東京圏等から本県への移住・定住を促進する。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|-------------------------|---|--------|
| 広島らしいライフスタイルの魅力発信【一部新規】 | ○移住ウェブサイト「HIROBIRO.」の運用・情報提供の充実 ○広島暮らしの魅力を発信する移住フェアやセミナーの開催 ○企業及び関係団体等との連携による移住&転職フェアの開催等【新規】 | 53,867 |
| 移住希望者と地域のマッチング | ○移住相談窓口「ひろしま暮らしサポートセンター」の運営 ○移住検討熟度の向上を促進するための来広支援 ○チャットボットを活用した移住行動の提案 | 21,491 |
| 移住者に対する受け皿づくり | ○地域における移住の受け皿づくり ○移住支援金・起業支援金の交付 ○交流定住促進協議会への参画 | 67,149 |

3 令和7年度予算額

142,507千円（一部国庫）

| | |
|-----|--------------|
| 課名 | 都市圏魅力づくり推進課 |
| 担当者 | 中田 |
| 電話 | 082-513-2566 |

都市圏魅力創造事業【一部新規】

1 ねらい

広島都市圏及び備後圏域において、内外の多様な人材を惹きつける魅力と活力ある地域環境の創出に向け、各圏域の中心である広島市及び福山市と連携した取組を推進する。

2 事業の概要

- 広島市都心部（紙屋町・八丁堀地区及び広島駅周辺地区）の中核拠点性の向上を目指して、広島市と連携して取り組む事業
- 備後圏域の活性化につながる福山駅周辺の魅力の向上を目指して、福山市と連携して取り組む事業

（単位：千円）

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|--------------------|---|-------|
| 魅力的な都市環境形成事業【一部新規】 | ○広島市都心部のまちづくりの推進 ・エリアマネジメント団体等の活動支援や広島都心会議ミライビジョン2030に掲げる取組を進める広島都心会議を広島市と連携して支援 | 5,000 |
| | ○福山駅周辺地区のまちづくりの推進 ・エリアの価値を高める開発の促進を目指し、地権者などを対象として、まちの課題解決手法の共有やその実践に向けた勉強会を行う福山市を支援 | 1,500 |
| | ○若者の意見をまちづくりに反映させる環境づくり【新規】 ・若者の意見を取り入れながら魅力的な都心空間を創出するための具体的取組を検討する広島都心会議を広島市と連携して支援 | 5,000 |
| | ○先進事例調査・有識者ヒアリング等 ・広島及び福山における都心活性化の課題や促進策を検討するため、先進事例の調査・検討などを実施 ○街の魅力の向上に向けたデザイン活用の促進 ・街の魅力の向上に向け街の付属物等をデザインする取組などを実施 | 3,348 |

3 令和7年度予算額

14,848千円（単県）

| | |
|-------|--------------|
| 課 名 | 国際課 |
| 担 当 者 | 大小田 |
| 電 話 | 082-513-2359 |

外国人材の受入・共生対策事業【一部新規】

1 ねらい

県内企業等において、特定技能等の外国人材の受入れが適正かつ円滑に行われ、外国人が、県内企業で活躍し、孤立することなく県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整える。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|-----------------------------|--|--------|
| 多文化共生の 地域づくり支援 【一部新規】 | ○外国人との共生推進 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人が地域と繋がりを持ちながら、生活に必要な情報を共有できる仕組みづくりを市町と連携して実施 ・外国人の情報共有の場として重要な役割を担っている外国人コミュニティの活性化を支援【新規】 | 27,822 |
| | ○地域日本語教室の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・地域日本語教室の拡充に向けた取組を実施 ・対面開催が困難な地域等を対象としたオンライン日本語教室を開催【新規】 ○異文化理解促進プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・小中高生を対象とした異文化体験講座等を実施 | 32,763 |

3 令和7年度予算額

60,585千円（一部国庫）

※ 外国人材の受入・共生対策プロジェクト・チームのうち、地域政策局分の事業について記載している。

| | |
|-----|----------------|
| 課名 | 平和推進プロジェクト・チーム |
| 担当者 | 山本・西澤 |
| 電話 | 082-513-2366 |

国際平和拠点ひろしま構想推進事業【一部新規】

1 ねらい

世界中のリーダーや研究者、NGO など、幅広い人材や情報・知識、資金などの資源を広島に集め、結びつけ、つなぐことにより、核兵器廃絶や復興・平和構築などの分野の研究や活動が活発に展開される「国際平和拠点ひろしま」を実現することを通じて、平和で安定した国際社会の実現に貢献する。

2 事業の概要

単位：千円（ ）は内数

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|-----------------------------|---|----------|
| 核兵器廃絶に向けた新たな政策づくりと多国間枠組みの形成 | 政策づくり事業 ○核抑止に替わる新たな安全保障政策づくりの推進（ひろしまラウンドテーブル開催、海外研究機関と連携した調査研究、ひろしまレポート作成等） ○研究活動強化と研究成果のアウトリーチ活動 | 102,477 |
| | （うち被爆・終戦80年事業） ・核分野若手研究者による対面の集中合宿（ウットロー・ウィルソンセンター・ブートキャンプ）の誘致【新規】 ・研究成果発表イベント | (57,175) |
| | ○核兵器廃絶に向けた多国間枠組みの形成（NPT 運用検討会議準備委員会での働きかけ、フレンズ会合設置準備等） ○国際会議の機会や本国訪問を通じた国連や政府関係者への積極的な働きかけ | 77,259 |
| 平和の取組への賛同者拡大と世界への働きかけ | （うち被爆・終戦80年事業） ・国際会議誘致事業【新規】 ・国際平和のためのユース対話イベント | (12,291) |
| | ○国連や各国政府への働きかけ強化に向けた多様な団体とのネットワーク化の推進（国際会議等での働きかけ） ○被爆・終戦80年を契機とした賛同者の飛躍的拡大に向けた取組 | 36,290 |
| 広島が有する経験や資源を生かした復興・平和構築 | ○グローバルに活躍し平和貢献できる人材の育成 | 48,750 |
| | 人材育成強化事業 （うち被爆・終戦80年事業） ・広島大学と連携した被爆80年人材育成事業【新規】 ・グローバル未来塾 in ひろしま ・広島-ICAN アカデミー | (48,250) |

| | | | |
|-------------------|--------------|---|----------|
| 持続可能な平和推進メカニズムの構築 | プラットフォーム構築事業 | ○多様な主体の参画を促すプラットフォームの構築と平和資源の集積機能等を備えた体制を整備（へいわ創造機構ひろしまの運営等） | 61,082 |
| | | （うち被爆・終戦80年事業） ・2025ひろしま国際平和&ビジネスフォーラムの開催 ・被爆80年特設ウェブサイトによる発信 | (48,412) |
| | 拠点構想推進事業 | ○国際平和拠点ひろしま構想推進のための構想推進委員会の開催等 ○へいわ創造機構ひろしまの基盤強化 | 96,985 |
| | | （うち被爆・終戦80年事業） ・へいわ創造機構ひろしまの法人化【新規】 | (83,553) |

3 令和7年度予算額

422,843千円（単県）

被爆・終戦80年における平和の取組 (国際平和拠点ひろしま構想推進事業)

【基本的な考え方】

令和7年度は、被爆・終戦から80年を迎え、被爆地から核兵器廃絶への力強いメッセージを世界に発信し、核兵器のない平和な世界を実現する決意を新たにす機会として非常に重要であり、日本被団協のノーベル平和賞受賞と合わせて、廃絶に向けた国際的な機運を高めていく弾みの年となるよう、県としてしっかり取り組む必要がある。

このため、8月に向け、機運を盛り上げていくため、

- ・4月から6月にかけて、「世界のリーダーが集い、未来と平和を語るプロジェクト」
 - ・7月から9月にかけては、「若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト」
- として、切れ目なく事業を実施していくことで、被爆地の取組に注目を集め、インパクトのある平和のメッセージを集中的に発信していく。

8月に向け集中的に切れ目なく取組実施

世界のリーダーが集い、
未来と平和を語るプロジェクト
(主に4～6月)

若者達が集い、
未来に平和をつなぐプロジェクト
(主に7～9月)

核兵器廃絶に向けた各国政府関係者への
働きかけ・トッププロモーションなど(通年)
「NPT運用検討会議準備委員会」などの機会を捉えた
政府関係者や市民社会への積極的な働きかけ

研究成果発表会、
HOPE法人化など

〈世界のリーダーが集い、未来と平和を語るプロジェクト(主に4～6月)〉

「2025ひろしま国際平和&ビジネスフォーラム」の開催をはじめ、各界で活躍するリーダーが広島に集う多様な国際会議と連携した力強い発信を行う。

- 国内外から影響力のある各界リーダーの参加のもと、世論に大きなインパクトを与える「2025ひろしま国際平和&ビジネスフォーラム」を開催する。【**拡充**】
- 各国政府関係者との連携を深め、取組を加速させるため、被爆80年にあたり企画されるバグウォッシュ会議世界大会などの国際会議の開催を支援する。【**新規**】

〈若者達が集い、未来に平和をつなぐプロジェクト(主に7～9月)〉

平和運動を担ってきた被爆者が高齢化していく中で、未来へ平和への想いをつないでいく必要があることから、若者向けの平和学習プログラム(国際平和のためのユース対話イベント、広島-ICANアカデミー、グローバル未来塾など)について、内容を充実させて実施するほか、新たな人材育成プログラムを関係団体と連携して実施する。

- ユニタール等と連携し、国連幹部や過去の平和学習プログラムの参加者も参画する「国際平和のためのユース対話イベント」を実施し、平和のメッセージを世界に発信する。【**拡充**】
- 広島大学と連携した人材育成プログラムの実施、グローバル未来塾や広島-ICANアカデミーの内容拡充により、若者の人材育成を加速させていく。【**新規・拡充**】
- 核分野の若手研究者による対面の集中合宿(ウッドロー・ウィルソンセンター・ブートキャンプ)を誘致する。【**新規**】
- 注目が集まる機会を利用し、賛同の拡大を図るため、大阪・関西万博での出展を活用し、被爆・終戦80年おりづるキャンペーンを実施する。【**拡充**】

〈その他の取組〉

- 核抑止に替わる新たな安全保障のあり方について、これまでの研究活動を強化するとともに、各国政府関係者や研究者等への直接的な働きかけに取り組む。また、世界的研究機関とともに取り組んできた研究成果について広く県民と共有するため、広島で研究成果を発表する。【拡充】
- 被爆80年特設ウェブサイトによる発信により、賛同者の飛躍的な拡大を図る。【拡充】
- 活動基盤の強化（資金を国内外から獲得するための仕組みを確立、マルチステイクホルダーと共に主体的に活動）の第一歩、及び、将来的には、国連におけるNGOとして活動していくため、へいわ創造機構ひろしま（HOPe）を一般社団法人化する。国連経済社会理事会のNGOとしての認定を目指すためには、基本的な財源が、（地方）政府組織からの出資などの関与がなく、賛同者からの寄附等によって賄われることが必要であることから、県が出資しない法人とする。【新規】

その他関連事業

- アーバンスポーツ大会「アーバンフューチャーズ広島」の開催を支援し、スポーツの力を活用した平和へのメッセージを発信する。【地域政策局】

- オロチ・神楽とオーケストラの協演「平和の舞 2025－鎮魂と再生－」を官民協働で実施する。【環境県民局】

| | |
|------|--------------|
| 課名 | スポーツ推進課 |
| 担当者 | 田口 |
| 電話番号 | 082-513-2641 |

アーバンスポーツ大会開催支援事業【新規】

1 ねらい

アーバンスポーツは、若者を中心に高い集客力があり、スポーツの枠を超え、観光、地域経済の活性化にもつながるなど成長が期待できることから、広島の新しいブランド価値を生み出す重要な取組として、アーバンスポーツ大会の開催を支援する。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|--------|--|--------|
| 大会開催支援 | アーバンスポーツ大会(アーバンフューチャーズ広島)への大会補助 【開催時期】 令和7年4月18日～20日 【開催場所】 ひろしまゲートパークプラザ (旧広島市民球場跡地) | 30,000 |

3 令和7年度予算額

30,000千円(単県)

| | |
|------|--------------|
| 課名 | スポーツ推進課 |
| 担当者 | 田口 |
| 電話番号 | 082-513-2644 |

スポーツに親しむ環境創出事業

1 ねらい

県民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、誰もが日常的にスポーツに親しむ機会を創出する。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|-------------------------------|---|------------|
| スポーツを通じた「遊び 学び 育つひろしまっ子！」育成事業 | <p>○幼稚園教諭や保育士等への運動遊び研修の充実 運動遊びを通じた「5つの力」を育む教育・保育を実践しようとする幼稚園教諭や保育士等を育成するため、研修を実施</p> <p>〔対象者〕 県内の幼稚園、保育所、認定こども園（約1,000所）の幼稚園教諭や保育士等</p> | 6, 3 2 2 |
| 身近な公共空間を活用した運動習慣化促進事業 | <p>○身近な公共空間等を活用した運動習慣化の促進 働く世代や子育て世代に対し、行動科学の専門家との検討を踏まえ、市町、民間事業者等と連携して「気軽に楽しく参加しやすい」運動・スポーツプログラムを提供することで、運動習慣化への検証を実施</p> <p>〔対象者〕 働く世代、子育て世代等</p> | 1 4, 5 7 8 |

3 令和7年度予算額

20, 900千円（一部国庫）

| | |
|------|--------------|
| 課名 | スポーツ推進課 |
| 担当者 | 藤井 |
| 電話番号 | 082-513-2649 |

スポーツを活用した地域活性化推進事業

1 ねらい

スポーツを核とした豊かな地域づくりに向け、スポーツを活用した地域活性化に取り組む。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|-----------------------------|--|--------|
| 県内各地域の 取組支援 | <p>○県内市町の「わがまち♡スポーツ」への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーボードによるノウハウ提供や人脈紹介などの人的支援 ・スポーツを活用した地域活性化に係るスタート時の取組費用の一部に対する財政支援 <p>《概要》 上 限 額：1市町あたり 5,000 千円 対象事業：スポーツを活用した地域活性化に資する事業（ソフト事業及びソフト事業に付随するハード事業） 補 助 率：1/2</p> <p>○「わがまち♡スポーツ」の成果継続・定着への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを活用した地域活性化の取組成果の継続・定着に向けての推進体制強化への支援 <p>《概要》 上 限 額：1市町あたり 5,000 千円 対象事業：スポーツコミッション設立等の推進体制強化に資する事業（ソフト事業） 補 助 率：1/2</p> | 23,790 |
| 県内スポーツの 応援環境の充実 | <p>○地域のスポーツ資源である様々なトップスポーツチームを最大限活用した、県民の関心を高めるためのプロジェクトの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内スポーツチームと連携したイベント等の実施 ・県内スポーツチーム連携強化のための合同研修会の実施 ・県内スポーツチームと連携したSNS等による情報発信 | 22,566 |
| スポーツアクティベーションひろしま(SAH)の組織運営 | <p>○スポーツを活用した地域活性化の推進に向けた、スポーツアクティベーションひろしまの運営</p> | 25,806 |

【わがまち♡スポーツ】

地域のスポーツ資源を活用して、それぞれが目指す地域の活性化を図る取組

【スポーツアクティベーションひろしま】

スポーツを活用した豊かな地域づくりに向け、地域のスポーツ資源を活用し、スポーツ関係団体との連携を図るとともに、ノウハウ等を十分に提供し、戦略的に進める観点から令和2年4月に広島県スポーツ推進課内に設置した広島版のスポーツコミッション

3 令和7年度予算額

72,162千円（単県）

| | |
|-------|--------------|
| 課 名 | スポーツ推進課 |
| 担 当 者 | 田口 |
| 電 話 | 082-513-2644 |

みらいアスリートチャレンジ応援事業

1 ねらい

スポーツを通じて子供たちが夢や希望に挑戦でき、自身の適性や志向にあったスポーツの楽しみ方を発見、選択し、自身の目標に挑戦できている状態を目指すため、小中高の各段階での取組をつなぎ、子供たち一人一人の資質や志向に応じた挑戦への支援に取り組む。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|----------------------------------|---|------------|
| 個々の能力に寄り添った運動機会の提供 (小学生(低学年)) | 「気軽に楽しく、個々の能力に寄り添った運動機会」を提供することで、「運動好きになるきっかけ」をつくる。 〔対象〕県内の小学生(低学年)、地域の指導者等 〔内容〕運動をこれから始める子供に、スポーツの入り口として、体を動かす楽しさと達成感を実感させることのできる指導者の育成などを図る | 9, 4 2 3 |
| 様々なスポーツに出会う機会の提供 (小学生(高学年)) | 様々な競技の体験機会と併せ、「子供たちの潜在能力を発見する機会」を提供することで、「好きなスポーツと出会うきっかけ」をつくる。 〔対象〕県内の小学生(高学年) 〔内容〕精密測定器具を用いたスポーツ能力発見会を通じ、個々の特徴に応じたスポーツを提案 | 5, 9 6 9 |
| ひろしまスポーツアカデミー (中学生) | 能力の高い選手を特化種目競技(ローイング、ホッケー、カヌー、ボウリング、レスリング、フェンシング、マルチスポーツ)で選考し、将来国際舞台で活躍するトップアスリートの育成を目指す。 〔対象〕県内の中学生 〔内容〕競技拠点(地域)で継続した質の高い育成プログラムを実施するとともに、アスリートにとって必要な共通プログラム(身体能力開発プログラム等)を提供 | 1 4, 4 6 6 |
| 競技力向上拠点校(高校生) | 競技力向上の拠点となる高等学校を指定し、優秀な選手が活躍できる場を確保することで、全国大会等で活躍できる選手の継続的な育成を図る。 〔対象〕県内の高校生 〔内容〕当該競技の運動部活動の強化を支援(トップコーチ派遣、強化合宿等) | 2 7, 0 0 0 |

3 令和7年度予算額

5 6, 8 5 8 千円(単県)

| | |
|-----|--------------|
| 課名 | 都市圏魅力づくり推進課 |
| 担当者 | 水本 |
| 電話 | 082-513-2568 |

広島西飛行場跡地活用推進事業

1 ねらい

広島都市圏における高次都市機能集積強化により中枢拠点性の向上を図る。

2 事業の概要

- 広島西飛行場跡地利用計画に基づき、広島市と共同で関連事業に取り組む。

(単位：千円)

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|------------------------|---|--------|
| 基幹道路等の整備等 | 道路施設等整備 〔事業主体〕 広島市 〔負担割合〕 県 1/2・市 1/2 | 90,000 |
| 新たな産業(にぎわい)ゾーンの活用に係る検討 | 新たな産業(にぎわい)ゾーンの活用に係る検討経費 | 450 |

3 令和7年度予算額

90,450千円(単県)

| | |
|-------|--------------|
| 課 名 | 中山間地域振興課 |
| 担 当 者 | 横田 |
| 電 話 | 082-513-2632 |

ひろしま里山・人材力加速事業【一部新規】

1 ねらい

中山間地域の将来を担うリーダーを発掘、育成するとともに、その活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に展開されるよう、活動の支援やつながりづくりの後押しを通じて、多様な主体が連携、協働して支え合える地域づくりを進める。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|-------------------|---|--------|
| 新たな人材の育成・機運醸成 | <ul style="list-style-type: none"> ○リーダー育成塾の開講 <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりのノウハウを学ぶ「ひろしま《ひと・夢》未来塾」の開講（第11期） ○幅広い活動実践に向けた機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・里山資源を生かした取組の好事例の表彰を行う「ひろしま里山グッドアワード」の実施 | 15,068 |
| チーム500を活用した活動の活性化 | <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域の活動実践者のプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・登録者の地域づくり活動情報の発信 ・実践者間の交流促進 ・地域内外の人材をつなげるワークショップの開催、ウェブサイトの再構築 ○新たな活動支援のための環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言 ・自立的な活動実践に向けたクラウドファンディング活用支援 等 ○相談窓口「地域づくりサポートデスク」の運営 | 23,065 |
| つながりづくり活動支援【新規】 | <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティ活動の強化や、地域外とのつながりづくりを目的に、地域づくり活動実践者が住民自治組織等と連携して行う取組を支援 [補助率 2/3 限度額 1,000 千円] ○関係人口創出に向けた、都市と中山間のつながりづくりを行う市町を支援 [補助率 1/2 限度額 1,000 千円] | 42,500 |

3 令和7年度予算額

80,633千円（一部国庫）

| | |
|------|--------------|
| 課名 | 中山間地域振興課 |
| 担当者 | 横田 |
| 電話番号 | 082-513-2632 |

集落対策推進事業

1 ねらい

急速な人口減少と高齢化が進む中山間地域において、住民が安心して暮らし続けていくための集落対策を、住民、住民自治組織、行政等の関係者が一体となって推進する。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|---------------|---|--------|
| 中間支援人材の派遣・育成等 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域住民の話合い、計画づくりや生活サービス確保に向けた取組について伴走支援する中間支援人材の派遣等 ○地域住民をサポートし、合意形成に導いていく中間支援人材の育成を図るための研修の実施 ○市町と連携して実施する集落対策の取組について、評価・助言を行う外部有識者による体制の整備 | 20,000 |
| 市町等の取組に対する支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○地域の将来を見据えた課題解決に向けて、市町や住民自治組織が行う取組に対する支援 | 15,000 |

3 令和7年度予算額

35,000千円(単県)

| | |
|-----|--------------|
| 課名 | 中山間地域振興課 |
| 担当者 | 横田 |
| 電話 | 082-513-2632 |

デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業

1 ねらい

中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援し、中山間地域に住む県民が安心して暮らすことができる生活環境づくりを進める。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|--------------------------|--|--------|
| 実装への取組支援、横展開・共同実施の仕組みの検討 | <p>○デジタル技術を活用したサービスを通じて中山間地域における身近な生活課題の解決を図る市町に対し、課題分析や成果測定指標の設定等に係る伴走支援を行う。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定や課題解決のためのデジタル技術の選定支援 ・実装化に係る技術的助言 ・市町課題のセグメント化・共有化による取組の掘起し 等 | 20,000 |
| | <p>○市町間の横展開・共同実施に向けた生活課題解決モデルの仕組みを検討する。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行事例の精査 ・複数市町共通課題の洗い出し ・共通課題に対応するソリューションの構想策定 等 | |
| | <p>○デジタル技術を活用したサービスの実装化に取り組む市町に対し、実装化に係る経費の一部を補助する。</p> <p>【対象分野】 生活交通、農地保全、医療・福祉、防災・減災、移住・定住など</p> <p>【対象市町】 課題解決に取り組む中山間地域を有する市町 (市町による共同実施も可)</p> <p>【補助率等】 1/2</p> | 40,000 |

3 令和7年度予算額

60,000千円 (一部国庫)

| | |
|-----|--------------|
| 課名 | 中山間地域振興課 |
| 担当者 | 横田 |
| 電話 | 082-513-2632 |

中山間地域活性化推進費

1 ねらい

令和2年度に策定した「第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画」が令和7年度末に終期を迎えることから、県民、市町、県が密接に連携しながら、総力を結集して総合的な取組を進めていくため、次期中山間地域振興計画を策定する。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|---------|---|-------|
| 次期計画の策定 | <p>○これまでの取組の振り返りや、社会情勢の変化や将来展望、令和6年度に策定した集落対策を踏まえ、次期中山間地域振興計画を策定する。 (計画期間：令和8年度～令和12年度)</p> <p>○策定に当たっては、関係市町の長とともに構成する「中山間地域振興協議会」において議論を進める。</p> <p>《参考》 策定に向けた調査及び検討に当たっては、令和6年度に先行実施した、次の住民意識調査の結果も活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：中山間地域での暮らし、都市部住民の中山間地域との関わり等の意識について ・調査期間：令和6年11月～令和7年2月 ・標 本 数：中山間地域 3,500、都市部 1,500 | 5,042 |

3 令和7年度予算額

5,042千円(単県)

| | |
|-----|--------------|
| 課名 | 公共交通政策課 |
| 担当者 | 丸石 |
| 電話 | 082-513-2579 |

広島県地域公共交通ビジョン推進事業【一部新規】

1 ねらい

県全域を対象とした地域公共交通政策のマスタープランである「広島県地域公共交通ビジョン」の目指す姿の実現に向けて、ビジョン施策の基盤となるデータ整備や人材育成を進めるとともに、市町や事業者と一体となった利用促進策にも取り組む。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|-----------------|--|--------|
| モビリティデータ連携基盤 | ○データ活用に向けたダッシュボードの機能強化 ・交通データ、人流データ、行政データの集積及び可視化 ・上記データの交通政策への活用 ○市町等の担当者を対象としたデータ連携基盤研修会の開催 | 84,750 |
| 交通人材の育成 | ○市町等の担当者を対象とした交通計画策定研修会の開催 | 7,000 |
| 利用促進策の検討【一部新規】 | ○エリア分科会の運営 ・市町、交通事業者、学識者によるエリア分科会の運営 ○利用促進策等の検討、実施【新規】 ・エリア分科会での議論を踏まえた利用促進策等の検討、実施 | 21,495 |
| 広島県地域公共交通協議会運営費 | ○協議会の運営 ・県民代表、交通事業者、行政による法定協議会の運営 ○公共交通ビジョンのPDCA ・住民アンケートの実施 ・評価指標における数値目標の達成状況を把握・評価 | 5,000 |

3 令和7年度予算額

118,245千円（一部国庫）

| | |
|-----|--------------|
| 課名 | 公共交通政策課 |
| 担当者 | 丸石 |
| 電話 | 082-513-2579 |

地域公共交通維持確保事業【一部新規】

1 ねらい

地域の幹線的・広域的なバス路線、日常生活を支える市町等運行路線、県として維持すべき航路等の運行経費等に対する補助を実施するとともに、喫緊の課題となっている運転士不足対策などに取り組むことを通じて、地域の暮らしや経済活動を支える地域公共交通を将来にわたって安定的に維持・確保する。

2 事業の概要

(単位:千円)

| 区分 | 内容 | 予算額 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----------------|-------------------------------|----------------|-----|--------------|----------------------|----------------|-------------------------|-------------------------------|----------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 生活交通確保対策事業【一部新規】 | ○バス運行対策費補助事業 広域的・幹線的な事業者バス路線に対する運航経費等の補助 | 450,198 | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域間幹線系統確保維持費</td> <td>補助対象費用と収益の差額(欠損額)の補助</td> <td>国 1/2 県 1/2</td> </tr> <tr> <td>地域間幹線系統確保維持費[車両減価償却費等分]</td> <td>新車で購入される補助対象車両の減価償却費及び金融費用の補助</td> <td>国 1/2 県 1/2</td> </tr> <tr> <td>広域生活交通路線確保維持費</td> <td>補助対象費用と収益の差額(欠損額)の補助</td> <td>県 1/2 市町 1/2</td> </tr> </tbody> </table> | | 区分 | 内容 | 補助率 | 地域間幹線系統確保維持費 | 補助対象費用と収益の差額(欠損額)の補助 | 国 1/2 県 1/2 | 地域間幹線系統確保維持費[車両減価償却費等分] | 新車で購入される補助対象車両の減価償却費及び金融費用の補助 | 国 1/2 県 1/2 | 広域生活交通路線確保維持費 | 補助対象費用と収益の差額(欠損額)の補助 | 県 1/2 市町 1/2 |
| | 区分 | | 内容 | 補助率 | | | | | | | | | | |
| | 地域間幹線系統確保維持費 | | 補助対象費用と収益の差額(欠損額)の補助 | 国 1/2 県 1/2 | | | | | | | | | | |
| | 地域間幹線系統確保維持費[車両減価償却費等分] | | 新車で購入される補助対象車両の減価償却費及び金融費用の補助 | 国 1/2 県 1/2 | | | | | | | | | | |
| 広域生活交通路線確保維持費 | 補助対象費用と収益の差額(欠損額)の補助 | 県 1/2 市町 1/2 | | | | | | | | | | | | |
| ○事業者路線再編調査支援 各市町が行う路線再編のための調査費用の補助 <補助率: 県 1/2 (上限 1,000 千円) 市町 1/2> | | | | | | | | | | | | | | |
| ○路線再編調査結果を踏まえた運行形態転換支援【新規】 各市町が行う運行形態転換のための経費の補助 <補助率: 県 1/2 (上限 2,000 千円) 市町 1/2> | | | | | | | | | | | | | | |
| ○日常生活圏に必要な生活交通を維持確保するため、市町が運行するバス路線等に対する運行経費を補助 <補助額>年間走行キロ×補助単価×補助率 <補助率>全部過疎 1/3、一部過疎 1/4、非過疎 1/6 | 131,275 | | | | | | | | | | | | | |
| 離島交通対策事業 | ○離島から本土への唯一航路の運航欠損額について国補助制度を補完し、離島航路所在市町に対して補助 <補助対象> 7 航路 <補助率> 国: 標準収支差に対する補助(国が算定) 収支差見込額から標準収支差を除いた額(県 1/2、市町 1/2) | 118,709 | | | | | | | | | | | | |
| 生活航路維持確保対策事業【一部新規】 | ○離島や架橋で結ばれた地域の経済活動を支える航路について、欠損額に応じて関係市町が負担する額の一部を補助(航路の実態調査や実証実験についても実施) <補助対象額> 算定式に基づき算出 ※補助対象費用に減価償却費を算入等【新規】 <補助率> 県 1/2、市町 1/2 | 149,811 | | | | | | | | | | | | |
| 交通事業者の経営力強化事業【一部新規】 | ○交通事業者が行う、今後の持続可能な公共交通の実現に資する投資に係る経費の一部を支援 <補助対象> バス、旅客船、タクシー <補助対象経費> 環境対策(環境対応型車両の購入、船舶の省エネ対策等)、デジタル化対策、人材確保に向けた職場環境整備(女性用トイレ・更衣室設置等) <補助率> 車両購入: 対象経費の 9/10(補助上限: バス 500 万円、乗合タクシー 200 万円、中山間地域のタクシー 100 万円)、その他: 対象経費の 2/3 ○バス運転士等の確保に向けた支援【新規】 ○自動運転バス導入に向けたモデルケースの作成【新規】 | 529,242 | | | | | | | | | | | | |
| LRT システム整備事業 | ○「広島県地域公共交通ビジョン」に掲げる交通GXとバリアフリー対策を進めるため、環境負荷の少ない低床式路面電車の導入に必要な費用の一部を補助 <負担割合: 国 1/3、県 1/12、市町 1/12、事業者 1/2> | 50,417 | | | | | | | | | | | | |

3 令和7年度予算額

1,429,652 千円(一部国庫)

| | |
|-------|--------------|
| 課 名 | 公共交通政策課 |
| 担 当 者 | 丸石 |
| 電 話 | 082-513-2579 |

広島型 MaaS 推進事業

1 ねらい

交通事業者・利用者・受益者（商業施設等）が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す「広島型 MaaS」を県内全域に展開するとともに、新たな移動サービスの調査を行うことによって、地域公共交通の利便性と持続可能性の向上を図る。

【MaaS】 出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

【広島型 MaaS】 交通手段の統合にとどまらず、地域（住民）が主体となり、交通事業者、商業施設等の交通受益者と連携し、定額制の導入や生活サービスの統合などを行った新たな交通サービス

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|--------------|--|--------|
| 広島型 MaaS の推進 | <p>○交通事業者、利用者、受益者が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す取組を実施する市町へ支援を行う。</p> <p>【補助要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活サービスとの統合を行うこと 社会実装を目指すものであること 地域公共交通計画に位置付けること など <p>【補助上限】</p> <p>5,000 千円/1 市町 (補助率：10/10)</p> | 21,200 |
| 新たな移動サービスの調査 | <p>○交通空白地域における交通の利便性と持続可能性を高める新たな移動サービスについて、社会実装に向けた実証運行を行う。</p> <p>【実施内容】</p> <p>デジタル技術を活用したデマンド交通や自家用有償旅客運送（いわゆる公共ライドシェア）など、地域が主体となった持続可能な移動手段の構築 〈実施予定地域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 呉市下蒲刈町 東広島市福富町 | 25,000 |

3 令和7年度予算額

46,200千円（一部国庫）

| | |
|-------|--------------|
| 課 名 | 公共交通政策課 |
| 担 当 者 | 矢島 |
| 電 話 | 082-513-2584 |

ローカル鉄道維持・確保事業

1 ねらい

「芸備線再構築協議会」において、沿線地域のまちづくり、観光振興の観点も含めた調査や議論を行い、持続可能で利便性の高い最適な地域公共交通を実現する。

また、中山間地域の魅力向上を図るため、鉄道網を地域資源として活用し、中山間地域ならではの地域交流の拡大や地域の利便性向上に取り組む市町・沿線協議会等を支援する。

2 事業の概要

- ・「芸備線再構築協議会」で必要となる費用の一部を負担する。
- ・市町・沿線協議会等が行う鉄道網を活用した地域交流の拡大等の取組に要する経費を支援する。

(単位：千円)

| 区 分 | | 内 容 | 予算額 |
|-----|-----------|---|--------|
| 芸備線 | 芸備線再構築協議会 | ○特定区間（備後庄原～備中神代間）の交通手段再構築について協議 ・芸備線再構築協議会及び幹事会の開催に係る経費 【全体運営費】2,500千円 【負担割合】国1/2、JR1/4、 沿線自治体(2県2市)1/4 ※再構築協議会の議論の状況に応じて、令和7年度以降に実施する実証事業等の補正予算への計上を検討 ※三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会（任意協議会）に参画し、再構築協議会とも連携 | 157 |
| | 芸備線対策協議会等 | ○鉄道網を地域資源として活用した、利用者や地域交流の拡大等の取組への支援 ・鉄道を活用した広域観光の促進 ・鉄道路線・駅舎を活用したイベントによる地域の魅力発信 ・鉄道を核とした地域交通の利便性向上 | 10,000 |
| 福塩線 | 福塩線対策協議会等 | ○鉄道網を地域資源として活用した、利用者や地域交流の拡大等の取組への支援 ・鉄道を活用した広域観光の促進 ・鉄道路線・駅舎を活用したイベントによる地域の魅力発信 ・鉄道を核とした地域交通の利便性向上 | 10,000 |

3 令和7年度予算額

20,157千円（単県）

| | |
|------|--------------|
| 課名 | 公共交通政策課 |
| 担当者 | 丸石 |
| 電話番号 | 082-513-2579 |

地域公共交通燃油費高騰緊急支援等事業

1 ねらい

強靱で持続可能な公共交通の実現に向けて、国による燃油費補助の縮小に伴う燃油費のさらなる上昇により、厳しい経営状況となることが見込まれる交通事業者に対し燃油費上昇分に係る影響額の一部を支援する。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 令和6年度 2月補正 予算額 |
|-----------|---|----------------------|
| 燃油費高騰緊急支援 | <p>燃油費の高止まりにより、厳しい経営状況が続く交通事業者に対して、燃油費上昇分に係る影響額の一部を支援</p> <p>【対象期間】 R7.1月～R7.3月</p> <p>【補助対象】 バス、旅客船、タクシー、鉄軌道</p> <p>【補助の考え方】 国による燃油費補助縮小前のR6.12月を基準とし、R7.1月以降の高騰影響額の1/2を補助</p> | 66,969 |

3 令和6年度2月補正予算額

66,969千円(国庫)

| | |
|------|--------------|
| 課名 | 都市圏魅力づくり推進課 |
| 担当者 | 吉田 |
| 電話番号 | 082-513-2346 |

旧広島陸軍被服支廠安全対策等事業

1 ねらい

旧広島陸軍被服支廠の安全対策を進めるとともに、並行して建物の活用等の検討を進める。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区分 | 内容 | 予算額 |
|--------------|--|-----------|
| 建物の安全対策と耐震補強 | ○耐震性を確保しつつ、内部見学などの利用が可能となる、安全対策と最小限の利活用を同時に実現する内容の工事 | 1,092,407 |
| 建物の活用等の検討 | ○活用の検討に係る情報収集・協議等の実施 ○事務執行に要する経費 | 2,044 |

3 令和7年度予算額

1,094,451千円（一部国庫）

| | |
|-----|--------------|
| 課名 | 国際課 |
| 担当者 | 大小田 |
| 電話 | 082-513-2359 |

南米県人会創立周年等記念事業【新規】

1 ねらい

南米の広島県人会の創立周年等記念行事が開催されるため、訪問団を派遣し、在外ネットワークの維持・強化を図る。

2 事業の概要

(単位：千円)

| 区 分 | 内 容 | 予算額 |
|-------|--|--------|
| 訪問団派遣 | ○訪問先（参加予定行事） ブラジル・サンパウロ（県人会創立 70 周年記念式典） ペルー・リマ（県人会創立 70 周年記念式典） パラグアイ・ラパス（県人会創立 65 周年記念式典） アルゼンチン・ブエノスアイレス（県人会交流会）等 [実施時期] 令和 7 年 10 月 予定 | 27,202 |

3 令和 7 年度予算額

27,202 千円（単県）

関連

「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」

ひと。しごと。くらし。 ずっと先の未来につなごう

事業

令和7年度

当初予算要求主要項目

1 令和7年度の基本的な方向

- 「中山間地域振興計画」(第Ⅰ期:平成26年12月、第Ⅱ期:令和3年1月策定)に基づき、地域に暮らす方々が、将来に希望を持ち「心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域」を目指して、多様な力でつながる《人》づくり、夢をカタチにできる《仕事》づくり、安心を支える《生活環境》づくりの三つを柱に、これまで関連施策を総合的に展開してきました。
- 特に第Ⅱ期計画においては、中山間地域を次世代に託すための力強い土台を築く期間として捉え、デジタル技術を活用したスマートな里山・里海づくりを進めることにより、持続可能な中山間地域の実現につなげることをとしています。
- 一方、中山間地域においては、県全体を上回るスピードで人口減少が進み、産業の衰退や、医療・買い物・交通といった生活サービス機能の縮小など、地域の持続可能性を確保していく上で厳しい現状に直面しています。
- こうした現状や今後見込まれる地域の変化を鑑み、令和6年10月に、あらゆる主体が一体となって取り組む集落対策の推進計画を、第Ⅱ期計画を補完するものとして策定しました。
- この計画に基づき、中長期的な展望に立って、住民が安心して暮らし続けることができるよう、地域住民の話合いや生活サービス機能の確保に向けた支援、地域内外の多様な主体が連携・協働して支え合える地域づくりの取組等を、住民、住民自治組織、行政等の関係者が一体となって進めてまいります。
- こうした施策の展開に当たりましては、目指す姿を市町と共有し、目指す姿の実現に向けてPDCAサイクルによるマネジメントを行いながら、施策の実効性を高めてまいります。

2 計画の目指す姿と基本姿勢

目指す姿

里山・里海に象徴される人と自然が作り出す中山間地域ならではの資産が、守るべき価値あるものとして、内外の人々により引き継がれる中で、

地域への愛着と誇りの高まりが、将来への希望と安心につながり、心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

基本姿勢

地域の基盤や特性を強みとして生かす

人のつながりや自然の豊かさなど、それぞれの地域が持つ資源や特性を「強み」として再認識し、眠っていた価値を引き出していくことによって、地域の価値向上につなげていきます。

価値に共鳴する人を増やし、支え合いを安心につなげる

中山間地域の「価値を維持・向上させる」ことの大切さに共鳴する多様な人材を地域内外で増やし、ともに地域の未来をつくる存在として認め合い、支え合うことによって、安心の醸成につなげていきます。

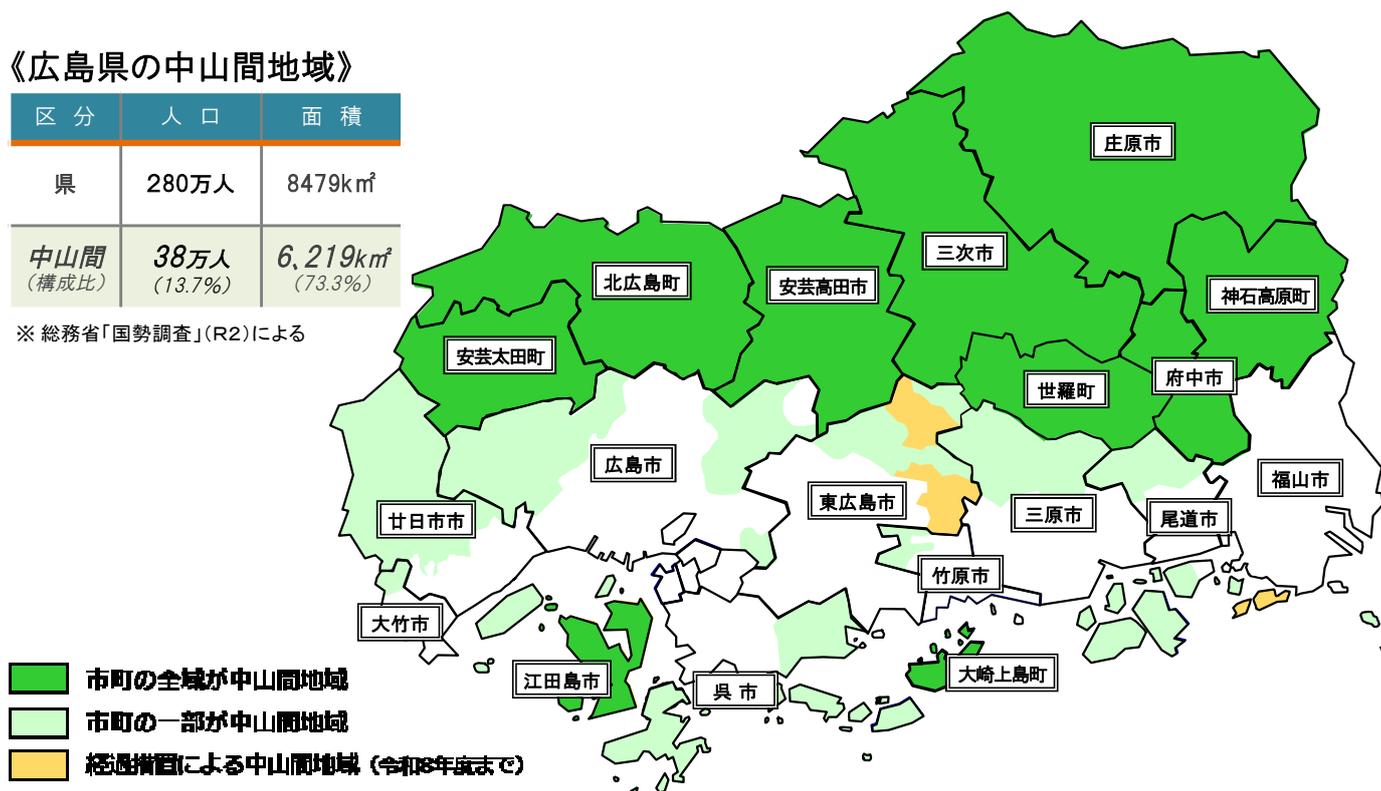
デジタルの力を取り込む

将来にわたって安心して暮らしを営むための新たな力となり得るデジタル技術を中山間地域の暮らしの中で分野横断的に実装することによって、新しい時代に対応した暮らしのモデルを創出します。

《広島県の中山間地域》

| 区分 | 人口 | 面積 |
|--------------|-----------------|--------------------|
| 県 | 280万人 | 8479k㎡ |
| 中山間 (構成比) | 38万人 (13.7%) | 6,219k㎡ (73.3%) |

※ 総務省「国勢調査」(R2)による



3 計画に基づく施策体系

5年後の
目指す姿

施策の柱 (取組の方向)

施策の小柱

心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

中山間地域の資源や特性が価値ある資産として引き継がれ、その豊かさに共鳴する人たちによって、
将来への「夢や希望」を託す、様々なチャレンジが始まっています

■ 多様な力でつながる
人づくり

協働・連携・交流

(1) 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

移住

(2) 若い世代を呼び込む地域環境の創造

教育

(3) 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

■ 夢をカタチにできる
仕事づくり

農林水産業

(1) 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

事業展開・創業支援

(2) 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

観光

(3) 地域資源を生かし、つなげる、
魅力ある観光地づくり

■ 安心を支える
生活環境づくり

医療・介護

(1) 地域医療・介護提供体制の確保

居住環境

(2) 地域特性に応じた居住環境の整備

子育て支援

(3) 子育て環境の充実

環境保全

(4) 里山・里海の環境保全

危機管理

(5) 危機対処能力の向上

4 中山間地域振興計画関連主要事業の予算額等

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画 関連主要事業の予算額

R6年度との比較 **R6** 99.2億円 ⇒ **R7** 105.0億円 (約5.8億円増)
※令和5年度2月補正(4.0億円)を含む ※令和6年度2月補正(1.5億円)を含む

H20年度との比較 **H20** 51.3億円 ⇒ **R7** 105.0億円 (約2.0倍)
※ 新たな過疎対策を重点分野と位置付けた初の予算

【施策ごとの主な事業】

ひと

3.7億円

■ 多様な力でつながる **人**づくり

- ① ひろしま里山・人材力加速事業
- ② 集落対策推進事業
- ③ ひろしまスタイル定住促進事業
- ④ 「学びの変革」推進事業

しごと

69.1億円

■ 夢をカタチにできる **仕事**づくり

- ① 食のイノベーション推進事業
- ② ひろしま型スマート農業推進事業
- ③ チャレンジ・里山ワーク拡大事業
- ④ 企業立地促進対策事業
- ⑤ 観光地ひろしま推進事業

くらし

32.2億円

■ 安心を支える **生活環境**づくり

- ① 地域医療介護総合確保事業
- ② デジタル技術を活用した
中山間地域の生活環境向上事業
- ③ 地域公共交通維持確保事業
- ④ 広島型MaaS推進事業
- ⑤ ひろしまの森づくり事業

注) 予算額は、「第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画」に基づき、主に中山間地域に関わりの深い事業の予算額を合計したものであり、その他の「県内全域を対象に取り組む関連事業」の予算額は、別途(参考)として一覧にまとめている。

5 計画の推進に向けた施策別の主な取組

(1) 多様な力でつながる 人づくり

R7予算額 3.7 億円

目指す姿

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 地域に愛着や誇りを持つ人たちの一步踏み出すためのチャレンジが次々と起こり、共感の輪が生まれています。また、地域に根差したリーダーが育ち、多様な人材のネットワークによって、地域資源を生かし、新たな価値を生み出す主体的な活動が展開されるとともに、地域の価値に共鳴する人たちの外部からの移住が進んでいます。こうした中で、コミュニティの力の再生に向けて、誰もが必要に応じて活躍の機会を得られる地域運営の新しい仕組みが構築され、地域の課題解決につながるモデル的な取組が始まっています。
- ◆ また、地域の資源と呼べるスポーツを通じて、地域ならではの特色を生かした取組が始まり、参加や交流を通じて、自らの地域に愛着や誇りを持つ人々が増え、地域アイデンティティが高まってきています。
- ◆ さらに、次代を担う子供たちには、学校と地域が連携して、未来を創る人材としての資質や能力を伸ばす機会が確保され、地域に誇りを持ち、将来の担い手として育成される環境が整いつつあります。

《目指す姿を実現するための施策》

協働・連携・交流

① 多様な主体による 自主的・主体的な地域づくり

主な取組

- 地域における《つながり力》の強化と人材の育成・ネットワークづくり
- 持続可能な地域運営の仕組みづくり
- スポーツを通じた地域活性化

移住

② 若い世代を呼び込む 地域環境の創造

主な取組

- 東京圏等からのU I ターン等の促進
- 地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化

教育

③ 地域を誇り未来を創る 人材を育てる教育

主な取組

- 地域の次代を担う人材の育成
- 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり
- 里山・里海体験の推進

① 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

人口減少等が進む中山間地域を支えていくため、地域づくりに取り組む人材の発掘・育成や、こうした人材の活動が主体的・継続的に展開されるための支援、都市部と中山間地域がつながり、多様な人材が支え合える地域づくりなどに、市町と連携して取り組む。

また、スポーツの持つ様々な力を活用して、地域の活性化や一体感を醸成するため、スポーツを核とした地域づくりを推進する。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|------------------------------------|--------------|--------------|
| ◇ 人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の登録人数 | (R5) 714人 | (R7) 680人 |
| ◇ 地域の資源と呼べるスポーツを活用して地域活性化を図っている市町数 | (R5) 11市町 | (R7) 14市町 |

【主な事業】

● 地域における《つながり力》の強化と人材の育成・ネットワークづくり

中山間地域の将来を担うリーダーを発掘、育成するとともに、その活動が、将来にわたって主体的かつ継続的に展開されるよう、活動の支援やつながりづくりの後押しを通じて、多様な主体が連携、協働して支え合える地域づくりの促進

■ ひろしま里山・人材力加速事業【一部新規】 81百万円

【新たな人材の育成・機運醸成】

- ・ 地域づくりのノウハウを学ぶ「ひろしま《ひと・夢》未来塾」(第11期)の開講
- ・ 里山資源を生かした取組の好事例の表彰を行う「ひろしま里山グッドアワード」の実施

【チーム500を活用した活動の活性化】

- ・ 登録者の地域づくり活動情報の発信
- ・ 地域内外の人材をつなげるワークショップの開催、ウェブサイトの再構築
- ・ 産学官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言
- ・ 自主的な活動実践に向けたクラウドファンディング(注)活用支援 など

注) クラウドファンディング
インターネット上で多数の人
から資金を募る仕組み

【つながりづくり活動支援】(新規)

- ・ 地域づくり活動実践者が住民自治組織等と連携して行う取組の支援
- ・ 市町が都市部と中山間地域のつながりづくりを行う取組の支援

● 持続可能な地域運営の仕組みづくり

人口減少が加速し、小規模・高齢化が進む中山間地域の集落において、多様な主体が連携して取り組む柔軟な地域運営や創意工夫を生かした課題解決の取組を支援

■ 集落対策推進事業 35百万円

- ・ 急速な人口減少と高齢化が進む中山間地域において、住民が安心して暮らし続けていくための集落対策を、住民、住民自治組織、行政等の関係者が一体となって推進する。

〔中間支援人材の派遣・育成等〕

- ・ 地域住民の話合いや計画づくり、生活サービス確保に向けた取組について伴走支援する中間支援人材の派遣等
- ・ 地域住民による話合いをサポートし、合意形成に導いていく中間支援人材の育成を図るための研修の実施
- ・ 集落対策の取組について、評価・助言を行う外部有識者による体制の整備

〔市町等の取組に対する支援〕

- ・ 地域の将来を見据えた課題解決に向けて、市町や住民自治組織が行う取組に対する支援

● スポーツを通じた地域活性化

地域が有する多様なスポーツ資源を生かし、スポーツを核とした豊かな地域づくりを推進

■ スポーツを活用した地域活性化推進事業 ※一部 10百万円

- ・ 県内各市町の実施する「わがまち♥スポーツ」への支援
- ・ 「わがまち♥スポーツ」の成果継続・定着に向けての推進体制強化への支援
- ・ 地域のスポーツ資源を活用した、県民の関心を高める仕組みづくり
- ・ スポーツアクティベーションひろしま(SAH)の組織運営

② 若い世代を呼び込む地域環境の創造

移住を検討している層又は移住に関心がある層に対し、移住ウェブサイト「HIROBIRO.」による情報発信や、移住・転職フェアなどの実施等により、広島らしいライフスタイルを提案し、その実現を後押しすることにより、東京圏等から本県への移住・定住を促進する。

また、市町や関係団体等との連携、移住支援金等の交付などにより、移住者の受け皿づくりをより強化する。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|
| ◇ 移住希望地域ランキング | (R5) セミナー部門 7位 窓口相談部門 10位 | (R7) セミナー部門 5位以内 窓口相談部門 5位以内 |
| ◇ 県外からのUIターン 転入者数(全域過疎市町) | (R5) 230人 | (R7) 301人 |

【主な事業】

● 東京圏等からのUIターン等の促進

「都市と自然の近接性」などの地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力の発信や移住チャットボットによるマッチングなどの取組を推進

■ ひろしまスタイル定住促進事業【一部新規】143百万円(うち76百万円)

〔広島らしいライフスタイルの魅力発信〕

- ・ 移住ウェブサイト「HIROBIRO.」の運用・情報提供の充実
- ・ 広島暮らしの魅力を発信する移住フェアやセミナーの開催
- ・ 企業及び関係団体等との連携による移住&転職フェアの開催等(新規)

〔移住希望者と地域のマッチング〕

- ・ 移住相談に係る総合窓口「ひろしま暮らしサポートセンター」の運営
- ・ 移住検討熟度の向上を促進するための来広支援
- ・ 移住チャットボット「あびいちゃん」による移住熟度・興味関心に応じた移住行動の提案

● 地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化

地域における移住の受け皿づくりや市町が取り組む空き家対策の取組を支援

■ (再掲)ひろしまスタイル定住促進事業 143百万円(うち67百万円)

〔移住者に対する受け皿づくり〕

- ・ 地域における移住相談対応、情報発信の促進など、移住の受け皿づくり
- ・ 移住支援金・起業支援金の交付
- ・ 県内23市町及び関係団体等と構成する交流定住促進協議会への参画

■ 空き家活用検討事業 6百万円

- ・ 空き家バンクHPによる情報発信、市町や地域への専門家派遣 等

③ 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

次代を担う子供たちが、地域への愛情や誇りを持ち、自らの創造力や行動力で、地域の新たな担い手として、これからの時代を切り拓いていく力を身に付けていけるよう、地域や市町と連携して、各学校における地域の特色を生かした教育活動を展開する。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|--|---------------|---------------|
| ◇ 地域に貢献しようとする意欲を持っている 中山間地域の県立高校生徒の割合 | (R5) 67.5% | (R7) 80.0% |

【主な事業】

● 地域の次代を担う人材の育成

中山間地域の次代を担う高校生が、地域・市町と一体となり、地域の活性化に向けた取組を行うことを通して、地域に貢献しようとする意欲の向上を図り、次世代のリーダーとして活躍できる人材となるよう支援

■ 中山間地域の次世代を担うリーダーの育成（非予算）

- ・ 学校、地域関係者、市町によるプロジェクト・チームで作成した地域活性化プランの実施・継続

● 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり

令和6年3月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画(第2期)」を着実に推進し、地域の特性や社会のニーズに対応した魅力ある高等学校を整備

また、遠隔教育システムを活用することにより、中山間地域等に位置する県立高等学校において、探究的な学びの実現等につながる教育活動を展開

■ 「学びの変革」推進事業 ※一部 81百万円

- ・ 中山間地域の学校における遠隔教育の推進
- ・ 1学年1学級規模校等の活性化に向けた取組に対する支援

(その他の関連事業)

- ・ 小中学校教育環境充実支援事業

● 里山・里海体験の推進

豊かな自然や伝統文化など、中山間地域ならではの特色を生かした多様な体験活動を推進するため、活動内容の充実に向けた市町の取組を支援

■ 「山・海・島」体験活動ステップアップ事業 12百万円

- ・ 地域の資源を活用した体験活動の好事例等の情報の発信
- ・ 体験活動を引率する教職員の旅費の支援

《トピックス》

■ 「地域の頼れるリーダー」の輪が広がっています

【ひろしま里山づくり学習プログラム】

府中市、廿日市市、安芸高田市及び江田島市において、地域の課題解決に意欲・関心を持つ皆さんが、地域の頼れるリーダーとして活動する実践者から里山を支えるスキルや、地域との良好な関係づくりのノウハウを学びました。参加者の今後の活躍が期待されます。



府中市



廿日市市



安芸高田市



江田島市

【元気さやま応援プロジェクト】

「ひろしま里山・チーム500」の登録者が、地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動が展開されています。地域住民同士の交流の拡大や仕事づくりを通じた地域とのつながりも生み出されつつあり、地域の方々からも期待の声が寄せられています。

(地域住民同士の交流の拡大)

| 主な取組内容 | 地域の声 |
|---------------------------|---|
| 空き家のDIYによる地域の交流を促進する拠点づくり | 空き家が再生されることに期待が寄せられており、地域の人たちから支援・協力の申し出があった。 |
| 廃校を活用した果樹栽培と収穫祭による賑わい創出 | 地域内外から多くの人に参加するイベントに成長するよう期待の声が上がっている。 |

(仕事づくりを通じた地域とのつながりづくり)

| 主な取組内容 | 地域の声 |
|-------------------------|---|
| 子供のプログラミング学習機会の創出 | 体験会の参加をきっかけに、プログラミング学習に意欲を持つ子供が増えたほか、大人も興味を持ち、実践につながったという声があった。 |
| 空き家の改修による林業の資格講習等の拠点づくり | 林業の担い手創出につながる拠点として期待されるとともに、参加者から林業への理解度が深まったという声が上がっている。 |

(2) 夢をカタチにできる **仕事** づくりR7予算額 **69.1 億円****目指す姿**

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 中山間地域に暮らしながら、働き続けられる環境が維持され、多様な企業や人材が、地域ならではの資源や基盤を生かして、新たな事業にチャレンジしています。
- ◆ とりわけ、中山間地域の基幹産業である農林水産業では、デジタル技術を導入しながら生産性を向上させ、地域資源や雇用労働力を有効に活用しつつ規模拡大に取り組むなど、持続可能な企業経営にチャレンジする担い手が増加しています。
- ◆ 観光面では、サイクリング、カヤックなどの体験や地域で育まれてきた伝統芸能の鑑賞、情緒あふれる古民家での宿泊体験など、中山間地域の資源を生かした観光サービスや観光商品等が充実し、国内外からの多くの観光客が周遊しています。

《目指す姿を実現するための施策》

農林水産業

主な枠組み

① **生産性の高い持続可能な
農林水産業の確立**

- 農業 ～地域の核となる力強い経営体の確保・育成
- 畜産業 ～持続可能な広島和牛生産体制の構築
- 林業 ～森林資源経営サイクルの構築・
森林資源利用フローの推進
- 水産業 ～持続的かつ安定的な水産資源の
生産供給体制の構築
- 持続的な農業生産活動の推進

事業展開・創業支援

主な枠組み

② **地域特性を生かした
事業展開や創業の促進**

- 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援
- 中小企業の成長支援
- 雇用機会の創出・就業促進
- 地域資源の販路・消費拡大

観光

主な枠組み

③ **地域資源を生かし、つなげる、
魅力ある観光地づくり**

- 国内外の観光客に向けた
観光資源の磨き上げと周遊促進

① 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

中山間地域において、農林水産業が所得や雇用を生み出すためには、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していく必要がある。

そのため、地域の核となる企業経営体の育成や新規就業者等の確保、木材需要の創出や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築、かきの安定生産体制の構築や水産資源の回復に向けて、資源管理や漁場環境の整備などに取り組む。

さらに、デジタル技術を活用したスマート農林水産業の実装化等による生産性の向上などに取り組むとともに、G7広島サミットを契機とした機運の高まりを活かし、瀬戸内さかなや広島和牛、日本酒などを始めとする本県が誇る食資産を首都圏等に向けて発信するとともに、広島を訪れた多くの方々に、広島の食の魅力を体感いただくことにより、県内外から「広島は美味しさの宝庫である」というブランドイメージを更に高め、ひろしまブランドの強化を図る。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|--|----------------|----------------|
| (農業) ◇ 農業生産額(畜産を除く) | (R5) 757億円 | (R7) 736億円 |
| (畜産業) ◇ 広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数 | (R5) 2,649頭 | (R7) 2,730頭 |
| (林業) ◇ 経営力の高い林業経営体数 | (R5) 11社 | (R7) 15社 |
| (水産業) ◇ 海面漁業※生産額800万円以上の担い手生産額 [※いわし類を除く] | (R5) 4.7億円 | (R7) 11億円 |

【主な事業】

● **農業** ～地域の核となる力強い経営体の確保・育成

農産物の生産額の増加を図るため、経営規模の拡大を目指す経営体の企業経営への転換支援や様々な企業と経営体が連携した新たなビジネスの創発、スマート農業技術を活用した生産性向上の取組を支援

■ **食のイノベーション推進事業** 47百万円

- ・ Campsやひろしま里山・チーム500といったコミュニティとの連携等による新たな食ビジネス創発への興味・関心を高めるイベントの開催
- ・ 農水産事業者と企業のマッチング及びプロジェクトの実行計画の作成支援
- ・ 新商品や新サービスの提供に向けた専門家による課題解決と現地実証に係る経費の支援

■ **経営力向上支援事業** 82百万円

- ・ 人材育成、予算・実績管理など重点課題の解決に向けた専門家の派遣
- ・ 雇成型経営に向けた経営計画の実行のための伴走支援など

■ **ひろしま型スマート農業推進事業** 81百万円

- ・ 中山間地域に対応した、スマート農業技術の確立に向けた実証試験の実施
- ・ メーカー等によるコンソーシアムでのカスタマイズ化によるひろしま型農業経営モデルの構築
- ・ 構築した経営モデルの普及に向け、アドバイザーを活用した伴走支援の実施

● **畜産業** ～持続可能な広島和牛生産体制の構築

持続可能な和牛生産体制の構築に向けて、広島和牛ブランドの付加価値向上に取り組むとともに、乳用牛への受精卵移植による和牛の増産や肥育経営体への安定的な受精卵産子の供給に向けた仕組みの構築等を実施

■ **広島和牛ブランド構築事業** 26百万円

- ・ 広島和牛を使ったメニューの定期提供や料理人と連携した加工品開発等により、高級飲食店での取り扱いを拡大する取組の実施
- ・ ブランドイメージの醸成に向けた情報発信の実施

■ **広島和牛経営発展促進事業** 31百万円

- ・ 高い受胎率が期待できる和牛受精卵の供給の実施
- ・ 広島血統子牛の繁殖牛としての保留等に対する支援
- ・ 畜産経営体の経営発展課題を解決するための支援 など

● **林業** ～森林資源経営サイクルの構築・森林資源利用フローの推進

林業・木材産業の成長産業化の実現のため、木材需要の創出対策や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築について、川上から川下までの総合的な取組を実施

■ **森林経営管理推進事業【一部新規】 ※一部** 153百万円

- ・ 外部専門家を活用し、長期的な森林経営に向けて経営改善に取り組む林業経営体の支援
- ・ 低コスト再造林技術の確立・普及や、コウヨウザンのノウサギ被害に対する効果的な対策の確立等の実施 など

■ **林業・木材産業等競争力強化対策事業** 98百万円 【2月補正を含む】

- ・ 県産材の安定供給のための搬出間伐、再造林、路網整備、高性能林業機械の導入支援

● 水産業 ～持続的かつ安定的な水産資源の生産供給体制の構築

瀬戸内の魚が持つ強みや特長を生かした広島県の食のブランド化の取組を推進し、認知・評価を高め、消費拡大につなげることにより、漁業経営の収益性向上を図るとともに、持続的な沿岸漁業を構築

また、デジタル技術を活用したかき養殖の生産安定化及び海面漁業の操業効率化並びに水産資源回復に向けた漁場環境改善、かき殻の有効活用及びミズクラゲの被害軽減に向けた対策等により、かき及び瀬戸内の魚を安定的に供給する体制を構築

■ 瀬戸内さかなブランド化推進事業 26百万円

- ・ 季節ごとの瀬戸内さかなを満喫できる料理の提供によってブランド化を牽引する共感店舗の拡大
- ・ 広島県の漁業者、流通、飲食等関係者の連携による「こだわり漁師」を軸とした流通強化の支援
- ・ 顧客視点に立った魅力ある情報発信の実施

■ 水産業スマート化推進事業 42百万円

- ・ かき養殖におけるデジタル技術の活用
- ・ 海面漁業におけるICT漁獲技術の実証及び技術習得に対する支援
- ・ 水産資源の回復に向け、海底耕うん後の環境改善効果の検証などの実施

■ クラゲ被害対策事業 16百万円

- ・ クラゲの発生源となるポリプが集中する場所の特定と試験的な駆除
- ・ 成熟前の小型クラゲの駆除規模を拡大する方法の検討
- ・ ICTを活用したクラゲ発生情報の共有による成熟前の小型クラゲ及び成熟したクラゲの効率的な駆除方法の実証

■ かき殻有効活用対策推進事業【一部新規】 10百万円

- ・ かき殻リサイクル製品の開発及びかき殻原料の低コスト化に向けた取組に対する支援（一部新規）

● 持続的な農業生産活動の推進

効果的な鳥獣被害防止対策を推進するため、高度な技術を有する市町専任者による戦略的な対策を県域で展開するとともに、持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための活動を支援

■ 鳥獣害に強い集落等育成推進事業 476百万円

- ・ 鳥獣被害対策指導者等の育成や捕獲技術の向上を図るための各種研修等の実施
- ・ 県域での戦略的な鳥獣被害対策の体制構築 など

■ 農業・農村多面的機能支払事業 954百万円

- ・ 持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や道水路や農村環境の適切な保全活動の支援

● 県産農林水産物のブランド強化

広島サミットを契機に、県内の多様なステークホルダーが共創して「おいしい！広島」の実現に取り組む機運の高まりを活かし、本県の豊かな自然環境に育まれた多彩な食資産の価値・魅力をさらに高めるとともに、実感されたおいしさの感動を広く伝えることで、県内外からの広島のおいしいイメージを醸成し、ひろしまブランドを強化

■ おいしい！広島推進事業 262百万円(うち52百万円)

〔おいしい！広島の受け皿づくり〕

- ・ 県内の盛り上がりを創出する取組に加え、その成果を体感できる機会創出に向けたしくみづくりにより、「おいしい！広島」イメージの更なる定着による県民の誇りの醸成
- ・ 来広者の動線を捉えた切れ目ない情報発信の実施による、首都圏等でのプロモーションと連動した魅力ある広島の食への誘導

〔首都圏等プロモーションの実施〕（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 食に対する興味関心が高い層をターゲットに、その特性も踏まえ、SNS等のメディアなどを活用した、本県の食の魅力の発信

■ (再掲)広島和牛ブランド構築事業 26百万円

- ・ 広島和牛を使ったメニューの定期提供や料理人と連携した加工品開発等により、高級飲食店での取り扱いを拡大する取組の実施
- ・ ブランドイメージの醸成に向けた情報発信の実施

■ (再掲)瀬戸内さかなブランド化推進事業 26百万円

- ・ 季節ごとの瀬戸内さかなを満喫できる料理の提供によってブランド化を牽引する共感店舗の拡大
- ・ 広島漁業者、流通、飲食等関係者の連携による「こだわり漁師」を軸とした流通強化の支援
- ・ 顧客視点に立った魅力ある情報発信の実施

② 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

事業所や商店の閉鎖により就業の場が減少している中山間地域において、コロナ禍で広がっているリモートワーク等の働き方の変化を追い風に、サテライトオフィスの誘致促進や中小企業による外部人材導入の取組を支援する。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|--|-------------|-----------------|
| ◇ 行政・経済団体・金融機関等連携による「オール広島創業支援ネットワーク」を利用した年間創業件数（全域過疎市町） | (R5) 14件 | (R7) 現状水準を維持 |
| ◇ 外部人材を活用する中小企業数（全域過疎市町） | (R5) 18社 | (R7) 40社 |

【主な事業】

● 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援

企業のサテライトオフィスの誘致や即戦力となる専門人材の確保に取り組む市町を支援するとともに、「オール広島創業支援ネットワーク」を通じて、意欲ある人材の創業や新たな事業展開を支援

■ チャレンジ・里山ワーク拡大事業 33百万円

- ・ 効果的な情報発信や民間事業者ネットワークを通じた誘致交渉企業の獲得
- ・ 市町が実施する誘致・受入体制の強化等に対する支援 など

■ 創業環境整備促進事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 「オール広島創業支援ネットワーク」を通じた、創業から創業後の成長までの切れ目ない包括支援
- ・ ひろしま創業サポートセンターを軸としたハンズオン型の創業支援

● 中小企業の成長支援

中山間地域において、人材不足などの課題を抱える中小企業が、外部人材を活用して自社の経営課題に継続的に取り組んでいくための意識啓発の取組を推進
また、活用促進を図るため、活用モデル創設等に向けた市町の取組を支援

■ 中山間地域外部人材活用支援事業 9百万円

- ・ 外部人材の効果的な活用に向けた市町が主催するセミナーへの講師の派遣
- ・ セミナー参加企業に対する外部人材活用に向けたフォローアップ
- ・ 外部人材の活用モデル創設に向けた市町の取組の支援

■ 中小企業イノベーション促進支援事業【一部新規】（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 専門家チームによる課題解決や成長プラン策定支援等、企業の課題に応じた伴走支援
（一部新規）
- ・ データの分析・活用方法やイノベーションを創出する組織づくりのための学びの場の提供

● 雇用機会の創出・就業支援

中山間地域への企業誘致を促進するため、当地域への立地企業に対する雇用奨励金を拡充する市町への支援等

■ 企業立地促進対策事業 ※一部 277百万円

- ・ 市町が中山間地域で雇用奨励金制度を拡充した場合に、支援額の一部を補助（市町補助）
- ・ 中山間地域における、企業人材転入助成の対象者要件の緩和及び助成率のかさ上げ など

● 地域資源の販路・消費拡大

中山間地域の中小企業等の販売力強化に向け、商工会等を通じた商品開発などの経営改善を支援

■ 小規模事業経営支援事業費補助金（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 商工会等が行う小規模事業者の経営改善や中小企業振興対策に対する支援

③ 地域資源を生かし、つなげる、魅力ある観光地づくり

里山・里海の豊かな自然や伝統文化などの魅力を通じた、中山間地域ならではの価値を提供するため、観光客の滞在や周遊につながる観光プロダクトの開発に取り組むとともに、国内外の観光客が、快適かつ安全安心に、周遊観光を楽しむことができるよう、ストレスフリーな受入環境の整備等に取り組む。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|-------------------|-----------------|------------------------------------|
| ◇ 年間総観光客数（全域過疎市町） | (R5) 1,333万人 | (R7) 1,709万人 (令和4年目標と同水準を維持) |

【主な事業】

● 国内外の観光客に向けた観光資源の磨き上げと周遊促進

観光の枠にとらわれない幅広い事業者間連携による付加価値の高い観光プロダクトの開発や、観光地における快適なトイレの整備等の受入環境整備を促進
また、周遊促進に向け、隣県との共同事業やスキー場を活用した情報発信等を実施

■ 観光地ひろしま推進事業 ※一部 144百万円

- ・ 観光以外の異業種も含む幅広い事業者に向けたワークショップやセミナーの開催や事業者とアドバイザーとの連携強化
- ・ 多様化する観光客のニーズに対応した付加価値の高い観光プロダクトの開発や、事業者等が行う観光プロダクト開発・既存プロダクト磨き上げへの助成

■ おもてなしトイレ整備事業 ※一部 88百万円

- ・ 観光地におけるおもてなしトイレの整備

■ 広島県観光事業振興負担事業 ※一部 12百万円

- ・ 広島県・島根県において、広域周遊観光の促進を図るための共同事業の実施
- ・ 関係市町及び県内スキー場と連携した雪山誘客のための情報発信やイベント等の実施

《トピックス》

■ 県域で鳥獣害対策に取り組む専門組織「テゴス」の活動が5市町で始まりました。

【現状・背景】

野生鳥獣による農作物の被害額はピーク時(平成22年度)と比較して半減しているものの、近年は約4億円と横ばいで推移し、下げ止まり傾向となっています。

その要因として、鳥獣被害対策に主体となって取り組む市町では、担当職員の定期異動等により、地域に対して指導できる技術の蓄積を図りにくいことや、単独市町での対策だけでは、市町境を超えて移動・拡大する鳥獣への対応等が難しいことが挙げられます。

このため、令和5年9月に専門組織「テゴス」を立ち上げ、令和6年度から5市町が参画して活動を開始しました。

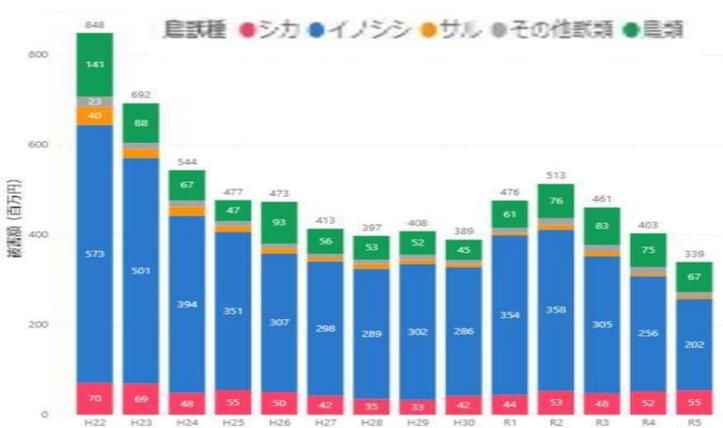


図1 農作物被害額の推移【広島県】



図2 市町の参画状況(R6)

【令和6年度の活動状況】

- ア 被害相談集落で事前調査を行い、情報をGISにマップ化して地域に提示
- イ 鳥獣被害対策に係る住民への現地指導を実施(52集落)
- ウ 個別相談のあった住民に対し、電話での助言、現地での技術指導等を実施(120件)
- エ 有害鳥獣捕獲の現地指導
 - (ア) 地域からの要請に基づき、捕獲講習会を2回開催
 - (イ) 2市町で有害捕獲個体の確認支援
- オ その他、GPS発信器を用いてサルの出没状況を把握し、スマート技術を活用した捕獲檻の設置を支援



図3 侵入防止柵の設置講習会



図4 GPSによるサルの位置の把握

【活動の成果(住民の反応等)】

- ア 集落で侵入防止柵の設置・修繕や追い払いの指導を実施した結果、その後の鳥獣被害がなくなったという声が多数寄せられ、正しい対策を行えば被害は防げる事例が増えつつあります。
- イ 指導の際紹介した支援制度の活用について、地域で検討が進んでおり、次年度以降、取組地域の拡大が見込まれます。

(3) 安心を支える **生活環境** づくり

R7予算額 **32.2 億円**

目指す姿

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 医療・介護の資源に限りがある中で、安心して質の高い医療を受けることができるよう、基幹的なへき地医療拠点病院が中心となり、他の中小規模の医療機関への医師派遣や広域的な人材育成などを通じた地域の医療機関のネットワークの構築、デジタル技術を活用した診療支援等により、医療提供体制の強化が進んでいます。
- ◆ また、介護を必要とする人も、住み慣れた身近な地域で安心して暮らすことができるよう、要介護者の状態に応じて、地域の医療・介護関係者が連携した最適な組み合わせで、在宅医療や介護サービスなどが提供されています。
- ◆ 地域や関係団体、企業、行政が連携して、日常生活に直結する様々なサービスについて、デジタル技術を活用して効率的に提供するための仕組みづくりが進み、スマートな里山づくりに向けたモデル的な取組が中山間地域全域に広がり始めています。
- ◆ とりわけ、交通アクセスについては、広域的な道路網と地域内の交通基盤が整備され、地域と都市を結ぶ広域幹線交通が維持されているとともに、新たな交通サービスの普及と地域の実情に応じた交通再編が進み、買物や通院等の日常生活の移動が確保されています。
- ◆ ネウボラを通じた子供や子育て家庭を支援する環境の構築に向けて、ほぼ全ての市町にネウボラの拠点が設置され、子育て家庭に関わる関係機関と市町のネウボラ拠点との間において、必要な情報が共有されています。
- ◆ 里山・里海の豊かな自然環境や水源かん養などの機能が、引き続き、維持・保全されています。また、災害を未然に防止し、局地的豪雨や地震、高潮等による災害時の被害を最小限にするための防災施設の整備が計画的に進むとともに、災害から命を守るための行動が実践されています。
- ◆ また、新型コロナ等による健康危機事例を踏まえ、平常時から健康危機の発生を未然に防止するための監視業務が適切に行われるとともに、緊急事態に備えた医療提供体制など、健康危機に適切に対応するための仕組みが構築されています。

《目指す姿を実現するための施策》

医療・介護

① 地域医療・介護
提供体制の確保

主な枠組み

- 医師等医療従事者の確保・育成
- 医療連携体制の維持・強化
- 地域包括ケア体制の確立

居住環境

② 地域特性に応じた
居住環境の整備

主な枠組み

- デジタル技術を活用した暮らしの向上
- 持続可能な生活交通体系の構築
- 社会環境の変化に対応したライフラインの維持

子育て支援

③ 子育て環境の充実

主な枠組み

- 妊娠期からの切れ目のない見守り・支援の充実
- 子供の居場所の充実

環境保全

④ 里山・里海の環境保全

主な枠組み

- 森林の公益的機能の維持・発揮
- 廃棄物の適正処理と
海洋プラスチックごみの流出防止

危機管理

⑤ 危機対処能力の向上

主な枠組み

- 災害対処能力の向上
- 健康危機対応能力の強化

① 地域医療・介護提供体制の確保

高齢化が進む中山間地域の医師不足の状況を踏まえ、地域に必要な医療体制を確保するため、若手医師の確保などに取り組むとともに、無医地区等への巡回診療など、へき地医療等の医療提供体制の維持・確保を図る。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケア体制を構築する。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|----------------------------------|----------------|------------------|
| ◇ 医療施設従事医師数 (全域過疎市町)[人口10万人対] | (R4) 210.8人 | (R8) 208.9人以上 |

【主な事業】

● 医師等医療従事者の確保・育成、医療連携体制の維持・強化

中山間地域等に就業する医師の確保を図るため、県地域医療支援センター等による医師確保に向けた取組を推進するとともに、無医地区等における安心な医療サービスの提供に向けて、へき地医療拠点病院による巡回診療などにより必要な医療提供体制を確保

■ 地域医療介護総合確保事業 ※一部 587百万円(うち485百万円)

- ・ 広島大学ふるさと枠・岡山大学地域枠の医学生への奨学金の貸付
- ・ 広島大学医学部寄付講座の運営支援
- ・ 地域医療支援センター等による医師確保 など

■ 地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部 66百万円

- ・ へき地医療拠点病院の機能連携及びへき地診療所の運営への支援

● 地域包括ケア体制の確立

高齢化や医療、介護の社会資源等の地域特性に応じた地域包括ケア体制を構築

■ (再掲)地域医療介護総合確保事業 ※一部 587百万円(うち102百万円)

- ・ 地域包括ケアシステムの質の向上に向けた、人材育成・アドバイザー派遣等の重点的な市町支援

② 地域特性に応じた居住環境の整備

日常生活に直結する様々な分野にデジタル技術を積極的に取り込むことにより、中山間地域における暮らしを持続可能なものにするための市町の取組を支援する。

また、中山間地域における生活交通は日常生活に不可欠なことから、国や市町と連携して幹線的なバス路線や航路等の維持・確保を図るとともに、デジタル技術を活用したMaaS^(注)など新たな交通サービスの導入に向けた支援を行う。

注) MaaS (マース) (Mobility as a Service)

出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|-------------------------|-------------|-------------|
| ◇ デジタル技術を活用した課題解決モデルの創出 | (R5) 13件 | (R7) 10件 |

【主な事業】

● デジタル技術を活用した暮らしの向上

生活に身近な分野において、中山間地域の課題解決に資する、デジタル技術を活用した新たなサービスを導入しようとする市町を支援し、中山間地域における取組モデルを創出するとともに、全県的なDXを推進

■ デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業 60百万円

- ・ 事業の実装に向けた、市町の課題分析や成果測定指標の設定等に係る伴走支援
- ・ 市町間の横展開・共同実施に向けた生活課題解決モデルの仕組みの検討
- ・ デジタル技術を活用したサービスを通じて、身近な生活課題等の解決を図る市町の実装に向けた取組の支援

■ 広島県DX推進事業【一部新規】 (県内全域を対象とする関連事業)

「広島県DX加速プラン」に基づき、民間事業者等に対するDXへの理解・実践意識の醸成やDXの取組を後押しすることにより、全県的なDXを推進する。

- ・ ビジネス変革を推進する中核的人材の育成(一部新規)
- ・ 「広島県DX推進コミュニティ」を通じたビジネス変革に取り組めていない層に対する支援
- ・ 支援機関と連携した取組の推進(一部新規) など

● 持続可能な生活交通体系の構築

地域の暮らしや経済活動を支える広域的な生活交通を維持・確保するため、国や市町と連携した路線や航路等の支援やデジタル技術を活用した新たな交通サービスの導入支援

- 地域公共交通維持確保事業【一部新規】 ※一部
1,379百万円(うち850百万円)
 - ・ 国や市町と連携した広域的・幹線的なバス路線への支援
 - ・ 生活交通を維持するための市町が運航するバス路線等への支援
 - ・ 離島や架橋で結ばれた地域の航路への支援(一部新規) など
- 広島型MaaS推進事業 46百万円
 - ・ デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスの相乗効果を生み出す取組を実施する市町への支援
 - ・ 新たな移動サービスの調査
- 広島県地域公共交通ビジョン推進事業【一部新規】(県内全域を対象とする関連事業)
 - ・ 「広島県地域公共交通ビジョン」の目指す姿の実現に向けた、データ整備や人材育成
 - ・ 利用促進策の検討及び実施(一部新規) など
- ローカル鉄道維持・確保事業 20百万円
 - ・ 鉄道を核とした地域交通の利便性向上等に取り組む市町を支援
《対象路線》 JR芸備線、JR福塩線

● 社会環境の変化に対応したライフラインの維持

日常生活に不可欠な水道や下水道などの維持・確保を図るため、計画的かつ効率的な整備及び管理を行うとともに、持続可能な運営に向けて広域連携などの取組を推進

- 水道事業の広域連携 (県内全域を対象とする関連事業)
 - ・ 「広島県水道広域連携推進方針」に基づき、「統合以外の連携」を選択した7市町と情報交換会や職員研修などを共同で実施
 - ・ 「広島県水道広域連合企業団広域計画」に基づき、広島県水道広域連合企業団による円滑かつ着実な事業運営の推進

③ 子育て環境の充実

子育て環境は、若い世代の定住を促進する上で重要な要素であるため、中山間地域ならではの豊かな自然環境を活かし、多様化するニーズに応じた質の高い保育サービスの確保・充実を図るとともに、多様な主体の連携によって、どこに住んでいても安心して子育てできる環境づくりに市町と一体となって取り組む。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|---|---------------|---------------|
| ◇ 安心して妊娠、出産、子育てができると思う者の割合 (ひろしまネウボラを実施している市町) | (R5) 79.6% | (R7) 86.0% |

【主な事業】

● 妊娠期からの切れ目のない見守り・支援の充実

子育てに関する不安や負担を軽減し、子供を希望する人が安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりに取り組むとともに、児童虐待などの様々なリスクを早期に把握し、リスクが表面化する前に必要な支援を届ける仕組みを構築

■ 子供の予防的支援構築事業 ※一部 4百万円

- ・ AIを活用した子供の予防的支援の仕組みの構築
- ・ 紙カルテでの運用が中心の母子保健データをデジタル化するシステムの開発

■ ひろしまネウボラ構築事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ ひろしまネウボラのあるべき機能や体制を整理した基本型に基づく取組に要する経費等の支援
- ・ 業務の質の向上を図るため、相談員向けの研修の実施

● 子供の居場所の充実

豊かな自然環境を活用した体験活動を取り入れた保育・幼児教育の普及を図るとともに、多様な保育サービス等の充実を図るため、認定こども園等の整備、保育士等の人材確保を実施

■ 多様な保育サービス充実事業 ※一部 14百万円

- ・ ひろしま自然保育認証制度に基づく認証団体の支援

■ 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 保育士人材バンクの運営による潜在保育士等と保育施設のマッチング など

④ 里山・里海の環境保全

森林の有する公益的機能の維持・発揮に向けて、多様な主体による自主的・継続的な森林保全活動を各地域へ拡大させ、県民参加の森づくりを進める。

また、地域の環境の保全に向けて、海ごみの発生抑制や廃棄物の適正処理などを進める。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------------------------|---------------|-----------------|
| ◇ 手入れ不足の人工林の年間間伐面積 | (R5) 857ha | (R7) 1,050ha |
| ◇ 3品目の海岸漂着物 (ペットボトル、プラスチックボトル、レジ袋) | (R5) 2.7t | (R7) 7.9t |

【主な事業】

● 森林の公益的機能の維持・発揮

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、県民全体で森林を守り育てる事業を実施

■ ひろしまの森づくり事業 ※一部 920百万円

- ・ 県民生活への影響が大きいと想定される森林の集中的な整備等の実施
- ・ 地域が抱える里山林の課題解決に向けた取組の推進や、地域住民等が里山林を継続して管理できる体制づくりの支援
- ・ 森林資源の利用促進に向けた、木造建築物における県産材利用拡大の推進
- ・ 市町と連携した取組内容や成果の広報による、県民理解の促進 など

● 廃棄物の適正処理と海洋プラスチックごみの流出防止

廃棄物の適正処理のため、人工衛星などのデジタル技術の活用等による不法投棄防止対策の推進や市町が実施する不法投棄防止対策等を支援するとともに、海洋プラスチックごみの流出防止に向け、発生抑制対策の推進や市町が実施する回収・処理の取組を支援

■ 産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 市町が実施する不法投棄防止対策等の支援
- ・ 産業廃棄物の不法投棄監視体制の構築・強化

■ 海ごみ対策推進事業【一部新規】 149百万円

- ・ 海ごみ対策プラットフォームの運営
- ・ ワンウェイプラスチックの削減や代替素材への転換促進等の実証事業
- ・ 上記実証事業の成果を踏まえたモデル地区での社会実装化促進事業(新規)
- ・ 屋外回収拠点の多様化による流出防止対策事業
- ・ 微細マイクロプラスチック共同研究における研究成果のとりまとめ
- ・ 海岸漂着ごみの実態把握調査
- ・ 市町が実施する海ごみ対策への補助

⑤ 危機対処能力の向上

いつ起こるか分からない災害から命を守るため、県民一人一人が自らの判断に基づき、適切な避難行動を実践することができるよう、自助、共助、公助にわたる、より効果の高い被害防止策を実施する。

| 主な指標 | 現状値 | 目標値 |
|---------------------|--------------|---------------|
| ◇ 避難の準備行動ができている人の割合 | (R5) 9.9% | (R7) 50.0% |

【主な事業】

● 災害対処能力の向上

「災害死ゼロ」を目指し、県民一人一人が、災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって県民総ぐるみ運動を推進

■ 「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」推進事業【一部新規】

(県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 防災教育を実践する推進員による小学校等での出前講座の実施や、中学校における防災eラーニング教材の展開及び新教材の制作(一部新規)
- ・ LINE等を活用したマイ・タイムラインの普及促進を図るための広報プロモーションの展開
- ・ 地域防災タイムラインを活用した避難訓練の促進 など

● 健康危機対応能力の強化

感染症発生時においても必要な医療サービスが提供できるよう、改正感染症法に基づく平時からの医療機関等との協定を締結するとともに、関係機関が連携して迅速かつ的確な対応を図るための人材養成を目的とした研修会を開催するなど、医療提供体制を充実・強化

■ 感染症予防対策事業 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 感染症の発生を迅速に把握するための調査や、感染症指定医療機関の運営費の支援
- ・ 協定締結医療機関における個室病床、病棟のゾーニング等の施設・設備整備に対する支援など

■ 新興感染症対策事業 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 感染者の治療に必要な抗インフルエンザウイルス薬の確保
- ・ 感染症危機に対応する人材養成のための研修の開催 など

《トピックス》

■ デジタル技術を活用した生活課題解決の取組が広がっています

中山間地域に住む県民が安心して暮らすことができる生活環境づくりを推進するため、中山間地域が抱える生活に身近な課題について、デジタル技術を活用して解決するための新たなサービスを導入しようとする市町の取組を支援しています。

※令和6年度の取組市町：7市町

(三原市、府中市、庄原市、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、神石高原町3件)

【庄原市および神石高原町での取組】

保育所ICTシステムを導入することにより、保護者と保育士との連絡を効率化するなど、安心して子育てができる環境の実現に向けて取り組んでいます。



スマートフォンを使用して
登園記録を行う様子(庄原市)

【府中市での取組】

高齢化に伴い増加している介護認定業務の効率化を図り、従来よりも早く介護サービスの提供が可能となる取組が進んでいます。



【支援市町（令和6年度分）】

| 市町 | 取組内容 |
|---------|---|
| 1 三原市 | 点検用車両による道路走行映像をデジタル技術を活用して解析することによる道路の維持管理効率化 |
| 2 府中市 | 介護認定審査会ペーパーレス会議システム導入、業務効率化による、審査に要する期間の短縮 |
| 3 庄原市 | 保育ICTシステムの導入による、保育所利用者の利便性向上及び保育の質向上 |
| 4 安芸太田町 | 公共交通のキャッシュレス化による住民の利便性向上および運行事業者の業務効率化 |
| 5 北広島町 | 点検用車両による道路走行映像をデジタル技術を活用して解析することによる道路の維持管理効率化 |
| 6 大崎上島町 | デジタル技術を活用した自律航行船実装による、定期航路運行時間外の離島・本土間移動の実現 |
| 7 | ドローンを活用した有害鳥獣対策、買い物対策の解決、雇用創出 |
| 8 神石高原町 | 保育ICTシステムの導入による、保育所利用者の利便性向上及び保育の質向上 |
| 9 | 住民窓口申請支援システムによる役場窓口での住民サービス向上 |

《参考》

- 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)
- 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

《参考》 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)

(単位:百万円)

| 区分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局 | | |
|-----------------------------|----------|------------------------|---------------|-----|----|----|
| 人づくり | 協働・連携・交流 | ひろしま里山・人材力加速事業 | 一部新規 | 81 | 地域 | |
| | | 集落対策推進事業 | | 35 | 地域 | |
| | | 中山間地域活性化推進費 | | 5 | 地域 | |
| | | 中国地方中山間地域振興事業 | | 1 | 地域 | |
| | | スポーツを活用した地域活性化推進事業 ※一部 | | 10 | 地域 | |
| | 移 住 | ひろしまスタイル定住促進事業 | 一部新規 | 143 | 地域 | |
| | | 空き家活用検討事業 | | 6 | 土木 | |
| | 教 育 | 中山間地域の次世代を担うリーダーの育成 | | 非予算 | 教育 | |
| | | 「学びの変革」推進事業 ※一部 | | 81 | 教育 | |
| | | 「山・海・島」体験活動ステップアップ事業 | | 12 | 教育 | |
| | 小 計 | | | 372 | 計 | |
| | 仕事づくり | 農林水産業 | 食のイノベーション推進事業 | | 47 | 農林 |
| | | | 経営力向上支援事業 | | 82 | 農林 |
| ひろしま型スマート農業推進事業 | | | | 81 | 農林 | |
| 農産物生産供給体制強化事業 【2月補正を含む】 | | | | 341 | 農林 | |
| 新規就農者育成総合対策事業 | | | | 308 | 農林 | |
| 先進農業企業参入促進事業 | | | | 2 | 農林 | |
| 農地中間管理事業 ※一部 | | | | 211 | 農林 | |
| 農地集積加速化支援事業 | | | | 164 | 農林 | |
| 広島和牛ブランド構築事業 | | | | 26 | 農林 | |
| 広島和牛経営発展促進事業 | | | | 31 | 農林 | |
| 家畜人工授精事業 | | | | 31 | 農林 | |
| 畜産競争力強化対策事業 | | | | 699 | 農林 | |
| 森林経営管理推進事業 ※一部 | | | 一部新規 | 153 | 農林 | |
| 林業・木材産業等競争力強化対策事業 【2月補正を含む】 | | | | 98 | 農林 | |
| 森林整備地域活動支援事業 | | | | 25 | 農林 | |
| 地域森林計画編成費 ※一部 | | | | 27 | 農林 | |
| 瀬戸内さかなブランド化推進事業 | | | | 26 | 農林 | |
| 水産業スマート化推進事業 | | | | 42 | 農林 | |
| クラゲ被害対策事業 | | | | 16 | 農林 | |
| かき殻有効活用対策推進事業 | | | 一部新規 | 10 | 農林 | |
| 栄養塩類対策調査費 | | 21 | 農林 | | | |
| 夏かき産地育成事業 | | 10 | 農林 | | | |
| 瀬戸内水産資源増大対策事業 | | 2 | 農林 | | | |

(単位:百万円)

| 区 分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局 | |
|---------|-----------|--------------------------------|--------|-------|----|
| 仕事づくり | 農林水産業 | 鳥獣害に強い集落等育成推進事業 | 476 | 農林 | |
| | | 中山間地域等直接支払事業 | 2,193 | 農林 | |
| | | 農業・農村多面的機能支払事業 | 954 | 農林 | |
| | | 集落営農活性化プロジェクト促進事業 | 1 | 農林 | |
| | | おいしい! 広島推進事業 | 52 | 農林 | |
| | | ひろしま地産地消推進事業 | 5 | 農林 | |
| | | 6次産業化総合支援事業 | 72 | 農林 | |
| | 卸売市場整備事業 | 【2月補正】 新規 | 133 | 農林 | |
| | 事業展開・創業支援 | チャレンジ・里山ワーク拡大事業 | | 33 | 地域 |
| | | 中山間地域外部人材活用支援事業 | | 9 | 地域 |
| | | 企業立地促進対策事業 ※一部 | | 277 | 商工 |
| | 観 光 | 観光地ひろしま推進事業 ※一部 | | 144 | 商工 |
| | | 国際サイクリング大会開催費 | | 10 | 商工 |
| | | おもてなしトイレ整備事業 ※一部 | | 88 | 商工 |
| | | 広島県観光事業振興負担事業 ※一部 | | 12 | 商工 |
| | 小 計 | | | 6,909 | 計 |
| 生活環境づくり | 医療・介護 | 自治医科大学関係費 | 132 | 健康 | |
| | | 地域医療介護総合確保事業 ※一部 | 587 | 健康 | |
| | | 医療型短期入所施設補助事業 | 2 | 健康 | |
| | | 地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部 | 66 | 健康 | |
| | | へき地医療対策費(へき地等巡回診療費) | 6 | 健康 | |
| | | 医療施設整備費補助金(へき地医療拠点病院設備整備等) ※一部 | 72 | 健康 | |
| | 居住環境 | デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業 | | 60 | 地域 |
| | | 地域公共交通維持確保事業 ※一部 | 一部新規 | 850 | 地域 |
| | | 広島型MaaS推進事業 | | 46 | 地域 |
| | | ローカル鉄道維持・確保事業 | | 20 | 地域 |
| | | 交番・駐在所整備事業 ※一部 | | 117 | 警察 |
| | 子育て支援 | 子供の予防的支援構築事業 ※一部 | | 4 | 健康 |
| | | 多様な保育サービス充実事業 ※一部 | | 14 | 健康 |
| | 環境保全 | ひろしまの森づくり事業 ※一部 | | 920 | 農林 |
| | | 国定公園等整備事業 | | 170 | 環境 |
| | | 海ごみ対策推進事業 | 一部新規 | 149 | 環境 |
| 小 計 | | | 3,215 | | |
| 合 計 | | | 10,495 | | |

注)・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関わりの深い部分を対象としている。

《参考》 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

(単位:百万円)

| 区 分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局 | |
|---------|-------------------------|-------------------|-------|----------|----|
| 人づくり | 花と緑の連携推進事業 | | 1 | 土木 | |
| | 外国人材の受入・共生対策事業 ※一部 | 一部新規 | 72 | 地域 土木 | |
| | 地域共生社会推進事業 ※一部 | | 22 | 健康 | |
| | スポーツを活用した地域活性化推進事業 ※一部 | | 62 | 地域 | |
| | 広域公園管理費 | | 340 | 土木 | |
| | けんみん文化祭開催事業 | | 26 | 環境 | |
| | 地域文化拠点強化事業 | 一部新規 | 12 | 環境 | |
| | 小中学校教育環境充実支援事業 | | 17 | 教育 | |
| 仕事づくり | 創業環境整備促進事業 | | 95 | 商工 | |
| | イノベーション・エコシステム形成事業 ※一部 | | 68 | 商工 | |
| | イノベーション人材等育成・確保支援事業 ※一部 | | 106 | 商工 | |
| | 中小企業イノベーション促進支援事業 | 一部新規 | 223 | 商工 | |
| | 緊急時レジリエンス環境整備事業 | | 25 | 商工 | |
| | 人的資本経営促進事業 | 一部新規 | 181 | 商工 | |
| | 女性活躍促進・仕事と家庭の充実応援事業 | | 20 | 商工 | |
| | 離転職者等就業・キャリア形成支援事業 ※一部 | | 71 | 商工 | |
| | 小規模事業経営支援事業費補助金 | | 2,665 | 商工 | |
| | 観光 | 観光地ひろしま推進事業 ※一部 | | 638 | 商工 |
| | | おいしい! 広島推進事業 | | 210 | 商工 |
| 生活環境づくり | 地域医療介護総合確保事業 ※一部 | 一部新規 | 5,779 | 健康 | |
| | 高度医療・人材育成拠点整備事業 ※一部 | | 225 | 健康 | |
| | 医療資源偏在解消・地域医療体制確保推進事業 | | 30 | 健康 | |
| | ドクターヘリ事業 | | 342 | 健康 | |
| | 保険者機能強化支援事業 ※一部 | | 18 | 健康 | |
| | 介護業界における人手不足対策事業 ※一部 | | 14 | 健康 | |
| | 民生委員・児童委員費 | | 32 | 健康 | |
| | 居住環境 | 広島県DX推進事業 | 一部新規 | 94 | 総務 |
| | | 地域公共交通維持確保事業 ※一部 | 一部新規 | 529 | 地域 |
| | | 広島県地域公共交通ビジョン推進事業 | 一部新規 | 118 | 地域 |
| | | 水道事業の広域連携 | | 非予算 | 上下 |
| | | 生活排水処理対策推進事業 | | 88 | 環境 |

(単位:百万円)

| 区分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局 | |
|---------|---------------------------|---------------------------|-------|-----|----|
| 生活環境づくり | 子供の予防的支援構築事業 ※一部 | | 1 | 健康 | |
| | ひろしまネウボラ構築事業 | | 146 | 健康 | |
| | 観光地ひろしま推進事業 ※一部 | | 638 | 商工 | |
| | 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト | | 98 | 教育 | |
| | 地域学校協働活動推進事業 | | 52 | 教育 | |
| | 地域子ども・子育て支援事業 ※一部 | | 3,767 | 健康 | |
| | 保育対策等促進事業 | | 350 | 健康 | |
| | 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業 | | 97 | 健康 | |
| | 子育て支援従事者の育成・資質向上事業 | | 20 | 健康 | |
| | ひろしま子育て応援事業 ※一部 | | 35 | 健康 | |
| | 環境保全 | 生物多様性保全推進事業 | | 9 | 環境 |
| | | 狩猟者育成事業 | | 11 | 環境 |
| | | 公園施設維持修繕事業 | | 637 | 環境 |
| | | 公園施設整備事業 | | 59 | 環境 |
| | | 産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部 | | 771 | 環境 |
| | | 瀬戸内海環境保全推進事業 ※一部 | | 1 | 環境 |
| | 危機管理 | 「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動」推進事業 | 一部新規 | 332 | 危機 |
| | | 建設技術者等雇用助成事業 | | 8 | 土木 |
| | | 建設業担い手確保事業 | 一部新規 | 36 | 土木 |
| | | 防災と福祉の連携による個別計画策定促進事業 | | 20 | 健康 |
| | | 感染症予防対策事業 | | 173 | 健康 |
| | | 新興感染症対策事業 | | 43 | 健康 |
| | | 建設分野の革新技术活用推進事業 | | 28 | 土木 |

注)・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関連する部分を対象としている。

(合計:18,814 百万円)